AICHI NURSING ASSOCIATION

令和２年度

教育研修計画

公益社団法人　愛知県看護協会

Nursing now

第36回

愛知県看護学会

～地域包括ケア時代の新たな看護実践の創造～

日　　時　令和2年12月9日(水)　10:00～16:00

主　　催　公益社団法人　愛知県看護協会

会　　場　愛知県産業労働センター（ウインクあいち）

特別講演　テーマ　地域包括ケア時代における
看護職者のグローバルかつローカルな視点とは
講　師　南　裕子　神戸市立看護大学　学長

シンポジウム　地域包括ケア時代における看護職者の連携

学会発表支援講座　事例・実践報告の進め方・まとめ方・発表のしかた

交流セッション　地域包括ケアおよび看–看連携に関するセッション(2セッション)

※ランチョンセミナー予定

Nursing now

令和2年度教育研修計画の発刊にあたって

団塊の世代が全て後期高齢者となる 2025 年、団塊ジュニア世代が 65 歳以上の高齢者となる2040年と、サービスの担い手が減少する超高齢化・人口減少社会が目前に迫っています。地域に生きる一人ひとりが尊重され、その可能性が最大限に発揮できる「地域共生社会」の実現に資する取り組みが求められるなか、看護職は入院施設から在宅に至るまであらゆる場での活動が期待され、切れ目のない継続した質の高い看護の提供が必要とされています。

愛知県看護協会は、看護職の資質の向上を組織の目的のひとつとしており、看護職一人ひとりが自己研鑽し、看護の力を発揮できるように継続教育機関としての役割を担っております。

今年度の大きな特徴は、日本看護協会の「訪問看護及び介護施設等の看護管理者研修プログラム」を基に構築した『訪問看護管理者研修（愛知県版)』を開催します。訪問看護ステーションの看護管理者を対象に系統的な研修を実施し、今後地域共生社会で役割を担う管理者の育成を目指します。また、重点事業として取り組んできました介護施設への出前講座が愛知県の基金を活用した事業として認められ 20 研修を開催することとなりました。訪問看護ステーション出前講座 10 研修と共に皆様のご意見を反映した出前講座が可能となりますので、是非ご活用ください。

継続研修内容は愛知県看護協会の重点事業をふまえ、愛知県・名古屋市より委託を受けての研修や、教育委員会・職能委員会・特別委員会による研修を 131 研修に増やし、定員数を 9900 人に拡大しました。また、新規研修は「小児のフィジカルアセスメント」「怒りとうまく向き合うためのアンガーマネジメント」「大人の発達障害の理解と対応」「原点にもどって、看護を考える」「学会や研究会で実践・事例報告をする時のコツ」等、アンケートでいただいた皆様の声を反映し、16 研修を企画しています。

今年度は、より多くの方にご参加いただけるよう継続教育方法を見直しました。定員数を増やす他、期間を拡大し 5 月より研修を開始します。募集期間も 1 週間から 2 週間へ延長し、皆様が希望する研修を選び申し込んでいただける時間を増やしました。また、ご自分の目指すレベルに合わせた研修を選べるように対象者を明確にすると共に、研修区分を「看護実践能力の核として必要な 4 つの力」等に分けました。その他、地区でのＪＮＡ収録ＤＶＤ研修の開催など、身近な地域で受講していただく機会を増やします。

多くの会員の皆様に研修へご参加いただき、看護の質の向上を図ることができるよう願っています。また、研修内容の詳細につきましては、協会ホームページをご覧いただきますようお願いいたします。

公益社団法人愛知県看護協会
常務理事　小池　三奈美

目次

愛知県看護協会の教育研修計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

研修会申込み手順・受講選考と通知 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

受講手続き・研修会当日の動き・参加に関する注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・ P 4

愛知県看護協会継続教育研修 申込書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

愛知県看護協会継続教育研修 申込書（記入方法） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」による
看護共通・専門分野（ラダー別）研修のマトリックス ・・・・・ P 7

「訪問看護ステーションにおける看護師の
クリニカルラダー（日本看護協会版）」と研修体系 ・・・・・・・ P 8

教育研修計画（分野別）・・ P 9

教育研修計画（月別）・・ P16

第36回　愛知県看護学会 ・・ P19

交通案内 ・・・ P30

愛知県看護協会の教育研修計画の概要

教育理念

愛知県看護協会は専門職業人として倫理を遵守し、より適切な看護サービスを提供するために、個々の看護職者が自己のライフサイクルの中で計画的にキャリア開発していけるよう、生涯教育の体系化を図り、教育・研修の機会を創設し支援する。

愛知県における社会資源となる能力・資格を持つ看護人材を養成する。

基本方針

1　継続教育の体系化を図り、会員及び看護職のキャリア開発に努める。
2　社会や組織から期待される役割を遂行できるよう、領域別・専門別研修の充実を図る。
3　変化する社会に対応できるよう研修を柔軟に企画する。
4　日本看護協会及び都道府県看護協会との連携をとり教育の充実を図る。
5　社会的資源となる看護職者の養成を行う。

教育目標

1　看護に必要な知識・技術・態度を学び、根拠に基づく看護実践能力を養う。
2　専門職としての感性をみがき、倫理的意思決定ができる能力を養う。
3　専門職として必要な知識・技術・態度を学び、安全な医療・看護が提供できる能力を養う。
4　チーム医療を推進するために、看護専門職としての判断力・指導力・調整力を養う。
5　臨床に必要な知識・技術・態度を学び、教育・研究活動ができる看護職者を育成する。

＜クリニカルラダーについて＞

受講される皆様の満足度や研修効果を向上させることを目的として、受講対象者が目指すラダーレベルを表記しています。「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（ＪＮＡ ラダー）に準じていますので、より適切な研修を選択していただくための指標としてください。

レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」

看護の核となる実践能力：看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力

	レベル		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
定義	レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】	助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	□自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	□ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる □得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	□予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる □ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		【行動目標】	□指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる □指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる □看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	□ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる □ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる □ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	□ケアの受け手の個別性に合わせて、適切なケアを実践できる □ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる □ケアの受け手の個別性をとらえ、看護実践に反映ができる	□ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる □幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追求できる □複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	【レベル毎の目標】	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる □助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる □助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる □ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる □連絡・報告・相談ができる	□ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる □関係者と密にコミュニケーションを取ることができる □看護の展開に必要な関係者を特定できる □看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	□ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる □ケアの受け手とケアについて意見交換できる □積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	□ケアの受け手がおかれている状況（場）を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる □多職種間の連携が機能するように調整できる □多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	□複雑な状況（場）の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる □多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる □関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる □目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	□ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる □確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	□適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる □法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる

ー 研修会の申込みから受講まで ー

研修会申込み手順

1） 受講を希望する研修の選定

(1) 各研修の内容と「開催月日」「申込区分」を教育研修計画（本冊子及び本協会のホームページ）で確認し、受講希望する研修を選定してください。

(2) **研修の詳細（開催要領）は、愛知県看護協会ホームページ ＞ 継続教育研修 研修一覧から確認できます。**

2） 応募方法

(1) 「**愛知県看護協会 継続教育研修申込書**」（P.５）に必要事項を記入してください。
（研修一覧表に✍**印がある研修は、専用申込用紙での申込みが必要**となります。
専用申込用紙はホームページからダウンロードしてください。）

(2) 愛知県看護協会会員の方は、申込書に会員証のコピーを貼付してください。
各研修の募集期間初日までに入会および継続手続きが完了している方を「会員」とします。
また、入会手続きが完了するには数週間かかりますので早めに手続きをしてください。

(3) 各研修の募集期間内に、申込書を愛知県看護協会 教育センター宛に**郵送**してください。
（**FAX による送信や募集期間外に届いたもの等は受付けできません**ので、ご注意ください。）

【募集期間】

申込区分	研修開催月	募集期間
Ⅰ期	５月・６月・７月	**４月　３日（金）～　４月１６日（木）必着**
Ⅱ期	８月・９月	**６月　１日（月）～　６月１５日（月）必着**
Ⅲ期	10月・11月	**７月３１日（金）～　８月１３日（木）必着**
Ⅳ期	12月～翌年２月	**１０月　１日（木）～１０月１４日（水）必着**

※定員に満たない場合は募集期間を延長します。詳細はホームページで確認してください。

【送 付 先】

〒466−0054
名古屋市昭和区円上町26番18号
愛知県看護協会　教育センター

受講選考と通知

1） 受講選考

応募者多数の場合は、より多くの施設の方に受講していただけるよう選考させていただくことがあります。

2） 選考通知の送付

応募者全員に施設代表者をとおして選考結果（受講の可否）を通知します。**研修開催日の２週間前までに通知がない場合は教育センター（TEL052−871−0761）までお問い合わせください。**

【選考結果発送予定】

研修開催月	発送予定
5月	４月２４日
6月	５月　８日
7月	５月２９日
8月	６月３０日
9月	７月３１日

研修開催月	発送予定
10月	８月３１日
11月	９月３０日
12月	１０月３０日
翌年１月	１１月３０日
翌年２月	

受講手続き

1） 受講料の振込み

「受講通知」が届いた方は、**記載してある指定口座へ期日までにお振込みください。**

注１：**口座番号は研修会ごとに異なりますので、必ず「受講通知」で確認**してください。

注２：**募集期間初日に入会および継続手続きが完了している方は会員の受講料**となります。なお、日本看護協会によるナースシップ導入に伴い、**研修申込後、研修日までに入会手続きが完了されても、会員の受講料での対応はできません**のでご承知ください。

＜振込時の注意事項＞

＊**振込み確認ができるもの（明細書等）を「発行」し、保管してください。**インターネットバンキングを利用される場合は、振込完了を確認し、「振込明細照会」を必ず印刷して保管をしてください。

＊**二重振込みに注意してください。施設からと個人からの重複**が多くありますのでご注意ください。

＊**振込み手数料は各自のご負担となります。**

＊振込み後の返金は致しません。

＊**今年度より受講料は消費税別となっております。**（ただし、JNA 収録 DVD 研修は除く）

研修会当日の動き

1） 受付

(1)研修開始30分前から行います。

(2)受講通知の下部にある**「受講票」を切り取って**必ずご持参下さい。

また、必要時、「受講料の振込み確認ができるもの」「看護協会会員証」を確認させていただくことがありますので、ご持参ください。

2） 研修時間

原則として、10：00 ～ 16：00 です。

ただし、研修によってはこの限りではありません。ホームページの開催要領を確認してください。

3） 受講証明書・修了証の発行

(1)研修時間の5分の4以上受講された方に、発行します。

ただし、**特定分野（養成）研修等は全時間の受講が必要**です。

(2)**受講証明書・修了証の再発行はできません。**

(3)受講証明書・修了証に記載される**氏名は、会員証と同じ文字**となります。

4） アンケートの実施

研修会ごとにアンケート調査を行っておりますので、ご協力ください。

参加に関する注意事項

(1)研修会によっては、**参考図書や演習物品等の準備**が必要となります。

✎印がある研修は、必ず開催要領で確認してください。

(2)**選考通知の発送に関するお問い合わせや、研修の欠席・遅刻の連絡は、下記までお電話ください。**

教育センター　052−871−0761

(3)看護協会に受講者用の駐車場はありません。**必ず公共交通機関でお越しください。**

駐車に関するトラブルが発生していますので、ご協力をお願いします。

(4)持参された昼食は、会場内で飲食可能ですが、**ゴミは必ずお持ち帰りください。**

(5)会場内は室温調整していますが、個別対応はしかねますので各自で調整できるようご用意ください。

(6)忘れ物は研修日から１カ月間保管した後、処分させていただきますのでご了承ください。

(7)看護協会は会館内・敷地内は全面禁煙となっております。

愛知県看護協会　継続教育研修　申込書

※□には必ず☑をご記入ください

研修Ｎｏ．	研修名

会員確認　【募集期間初日に年会費納入が完了していない場合、非会員となります】

□　会員

□　非会員

当協会会員番号(お分かりの方)

看護協会会員証のコピーを貼付

会員証が未着

非会員

氏名を記入

ふりがな	
氏　　名	

生年月日	西暦　　年　　月　　日	年　齢	歳
性　別	□　男　□　女		
職　種	□　保健師 □　助産師 □　看護師 □　准看護師		
実　務	業務経験年数　　年		

所属施設の変更、改姓をした方、会員証と現姓が異なる方

旧施設名

旧氏名

(ふりがな)
現氏名

あなたの目指すクリニカルラダー

□ﾚﾍﾞﾙⅠ	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅡ	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅢ	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅣ	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅤ	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しＱＯＬを高めるための看護を実践する

所属施設名

施設所在地
〒　　―

連絡先
所属部署（　　）

ＴＥＬ（　　）　　―

内線（　　）

所属部署の診療科名

□ 病棟（　　）

□ 外来（　　）

□ その他（　　）

職　位	□　部長 □　師長 □　スタッフ □　その他（　　）	□　副部長 □　主任 □　教員
受講料振込者	□　施設 □　受講者本人	

【 施設における優先順位がありましたらご記入ください ＿＿＿＿＿＿】

＜個人情報の取り扱い＞

この個人情報は、本会の個人情報保護方針および規程に基づき、適切に活用いたします。研修会申込に伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはいたしません。

コピーしてお使いください

愛知県看護協会　継続教育研修　申込書　【記入方法】

※□には必ず☑をご記入ください

研修Ｎｏ　（研修番号を記入）

研修名　（研修名を記入）

会員確認　【募集期間初日に年会費納入が完了していない場合、非会員となります】

□　会員　→　当協会会員番号(おわかりの方)

□　非会員

看護協会会員証のコピーを貼付

会員証が未着 → 非会員 → 氏名を記入

ふりがな	
氏　　名	

所属施設名

（必要項目の □ 部分は該当するものにチェックをする）

施設所在地
〒　　－

（連絡先は病棟名等を記入（例：2階西病棟））

連絡先
所属部署（　　）
ＴＥＬ（　　）　　－
内線（　　）

生年月日	西暦　　年　　月　　日	年　齢	歳
性　別	□　男　□　女	所属施設の変更、改姓をした方、会員証と現姓が異なる方	
職　種	□　保健師 □　助産師 □　看護師 □　准看護師	旧施設名 旧氏名 (ふりがな) 現氏名	（会員証と異なる苗字の方は記入　※ふりがなも忘れずに）
実　務	業務経験年数　　年		

所属部署の診療科名

（所属病棟等の診療科名を記入(例：呼吸器内科)）

□ 病棟（　　）

□ 外来（　　）

□ その他（　　）

あなたの目指すクリニカルラダー

□ﾚﾍﾞﾙⅠ	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅡ	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅢ	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅣ	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
□ﾚﾍﾞﾙⅤ	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しＱＯＬを高めるための看護を実践する

（ラダーレベルの詳細は【教育研修計画】P.2）

職　位	□　部長　□　副部長 □　師長　□　主任 □　スタッフ　□　教員 □　その他（　　）
受講料振込者	□　施設 □　受講者本人

【 施設における優先順位がありましたらご記入ください ＿＿＿＿＿＿ 】

＜個人情報の取り扱い＞

この個人情報は、本会の個人情報保護方針および規程に基づき、適切に活用いたします。研修会申込に伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはいたしません。

コピーしてお使いください

「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)による」看護共通・専門分野(ラダー別)研修のマトリックス

※各研修の内容は、全ての教育目標に係るが、ここでは主な学習内容で位置づけている。

ラダーレベル		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
定義 / 看護に必要な能力		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	1・2.実践に活かすフィジカルアセスメント				
		3・4.急変をどう予測するか				
			5.小児のフィジカルアセスメント～子どもの状態を的確に把握するためのポイント～			
				6.先輩ナースのためのフィジカルアセスメント		
	ケアする力	7.誤嚥性肺炎の予防とケア				
		8.看護の場で必要な感染管理				
			9.呼吸器ケア～慢性呼吸器疾患に対する病院・在宅での呼吸管理～			
			10・11.褥瘡とスキン-テアに対するケア			
			12.高齢者のスキン-テア～病院・施設・在宅で応用できるスキルを学ぼう～			
			13・14.リンパ浮腫ケア			
			15.うつ・せん妄の予防と対応			
			16.高齢者のもてる力を活かしたケア～実践編～			
			17.認知症患者の看護～その人らしい生活を支援する看護～			
			18.心不全患者の看護～急性期から慢性期まで～			
			19.糖尿病患者の看護～アセスメントと患者・家族支援～			
			20.がん化学療法と看護～患者のライフスタイルの支援～			
			21.クリティカルケア～生命危機状態にある患者の治療と看護～			
			22.周手術期におけるチーム医療と看護			
			23.コミュニケーションに活かすコンフリクトマネジメント～メディエーションの理論と技法～			
			24.いま、求められる外来看護			
				25.現場で活かす医療事故防止対策と安全教育		
		26.診療所における医療安全管理				
	協働する力	27.<JNAオンデマンド活用研修>看護の倫理綱領と看護業務基準				
		28.<JNAオンデマンド活用研修>チーム医療の構成員としての役割				
			29・30.職場の人間関係を潤おすコミュニケーション～アサーションの活用～			
			31・32.コーチングの基礎知識			
			33.怒りとうまく向き合うためのアンガーマネジメント			
				34.看護力を発揮するためのチームビルディング		
				35.小児医療と地域連携～子どもと家族への支援～		
				36.病院(施設)と在宅をつなぐ看護～生活を支えるためのチームアプローチ～		
				37.災害看護～自律と協働～		
				38.大人の発達障害の理解と対応		
					39.原点にもどって、看護を考える	
		40.<JNAオンデマンド活用研修>地域での看護職連携				
		41.<JNAオンデマンド活用研修>地域での多職種連携				
	意思決定を支える力		42.エンドオブライフケア～患者・家族のACP・意思決定の支援～			
			43.意思決定支援と倫理			
				44.<JNAオンデマンド活用研修>ケアの受け手の意思決定		
				45.<JNAオンデマンド活用研修>ケアの受け手の自己決定支援		
		46.看護実践のなかにある倫理				
組織的役割遂行能力		47.看護が見える看護記録				
			48.看護師に求められる役割とそれぞれの立場における対応			
				49.インストラクショナルデザインの理解と活用		
				50.施設内教育とインストラクショナルデザイン～活用と改善のポイント～		
				51.多職種との実践をつなぐ看護記録		
				52.職場におけるメンタルヘルスケア～管理者に求められる対応を事例から考える～		
					53.組織分析～管理者のための問題解決手法～	
					54.管理者に求められる組織倫理	
					55.<JNAオンデマンド活用研修>「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」の理解と施設内教育への活用	
		56.看護職の法的責務と看護記録				
自己教育・研究能力		57.ストレスコーピングとアサーティブネス				
			58.看護研究のはじめの一歩 ～研究疑問を看護研究に結びつける方法を学ぶ～			
			59.学会や研究会で実践・事例報告をする時のコツ			
				60.看護実践の質を高める看護研究の推進～看護研究の支援方法を学ぶ～		
				61.看護の動向と展望		

「訪問看護ステーションにおける看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」と研修体系

ラダーレベル	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
定義 / 核となる実践能力	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
ニーズをとらえる力	助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）を統合し、ニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる
ケアする力	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護実践をする	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
協働する力	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、他職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く他職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引出し連携に活かす
意思決定を支える力	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、他職種も含めた調整的役割を担うことができる
訪問看護に関する研修		9. 呼吸器ケア ～慢性呼吸器疾患に対する病院・在宅での呼吸管理～			
		12.高齢者のスキン-テア ～病院・施設・在宅で応用できるスキルを学ぼう～			
			36.病院（施設）と在宅をつなぐ看護 ～生活を支えるためのチームアプローチ～		
				72. 訪問看護管理者研修(愛知県版)	
		93.訪問看護師ブラッシュアップ研修			
	95.訪問看護スキルアップ研修 ～在宅における感染管理～				
	97～106.訪問看護ステーション出前講座				
	訪問看護職員養成講習会				
	訪問看護職員養成講習会（eラーニング）				

※ 研修No.1～61の看護共通・専門分野（ラダー別）研修も是非ご受講ください。

教育研修計画（分野別）

※：外部会場（会場名は開催要領参照）
✎：参考図書・演習物品等の準備が必要（費用は各自負担）
✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要
会員：各募集期間初日に入会手続きを完了されている方

[看護共通・専門分野（ラダー別）研修]

【ニーズをとらえる力】

研修No.	目指すレベル	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
※1	Ⅰ・Ⅱ	実践に活かす フィジカルアセスメント	8/3	1日	Ⅱ	210	中野　千春（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 診療看護師）	対象の状態を把握し、査定するための基本的看護技術であるフィジカルアセスメントの基本を学ぶ。	8,000 会員:4,000
※2			11/17	1日	Ⅲ	210			8,000 会員:4,000
※3		急変をどう予測するか	10/6	1日	Ⅲ	210	濱本　実也（公立陶生病院　集中ケア認定看護師）	急変につながる危険な兆候に気づき、迅速な対応をするために必要な基本的知識を学ぶ。	8,000 会員:4,000
※4			12/15	1日	Ⅳ	210			8,000 会員:4,000
新5	Ⅱ・Ⅲ	小児のフィジカルアセスメント ～子どもの状態を的確に 把握するためのポイント～	10/30	1日	Ⅲ	80	小山田　恵（名古屋掖済会病院　小児救急看護認定看護師） 辻　和美（　同　小児救急看護認定看護師）	重篤化や状態が変化しやすい子どもの状態を的確に把握するために必要な小児のフィジカルアセスメントについて学ぶ。	8,000 会員:4,000
6	Ⅲ・Ⅳ	先輩ナースのための フィジカルアセスメント	10/2	1日	Ⅲ	120	松本　幸枝（まつもとクリニック　急性・重症患者看護専門看護師）	指導的な立場にある者が、フィジカルアセスメントで重要なことや優先することを学び、事例をもとに系統的・客観的な情報収集方法の理解を深める。	8,000 会員:4,000

【ケアする力】

研修No.	目指すレベル	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
✎ ※7	Ⅰ・Ⅱ	誤嚥性肺炎の予防とケア	8/27	1日	Ⅱ	220	狩谷　明美（県立広島大学保健福祉学部看護学科）	誤嚥性肺炎のメカニズムに関する知識をもとに、食事支援・口腔ケア・ポジショニング等の誤嚥予防ケアについて学ぶ。	8,000 会員:4,000
※8	Ⅰ～Ⅲ	看護の場で必要な感染管理	8/7	1日	Ⅱ	170	長﨑　由紀子（愛知医科大学看護学部 感染症看護専門看護師） 田上　由紀子（名古屋市立大学病院　感染管理認定看護師）	看護を提供する場で必要な感染管理の基本を理解し、必要な知識と複雑化する感染対策の実際を学ぶ。	8,000 会員:4,000
※9	Ⅱ・Ⅲ	呼吸器ケア ～慢性呼吸器疾患に対する 病院・在宅での呼吸管理～	11/4	1日	Ⅲ	160	松尾　正樹（中部ろうさい病院　医師） 山内　美樹（　同　慢性呼吸器疾患看護認定看護師）	慢性呼吸器疾患の最新の治療と病院・在宅で行われる呼吸管理（酸素吸入・人工呼吸器等）の実際と看護を学ぶ。	8,000 会員:4,000
10		褥瘡とスキン-テアに対するケア	6/29	1日	Ⅰ	130	山口　梨乃（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師）	褥瘡とスキン－テア（皮膚裂傷）の相違を理解し、それぞれの予防・発生時の対処（処置）方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
11			11/13	1日	Ⅲ	130	藤井　由佳（あいち小児保健医療総合センター 皮膚・排泄ケア認定看護師）		8,000 会員:4,000
✎ 12		高齢者のスキン-テア ～病院・施設・在宅で 応用できるスキルを学ぼう～	11/4	1日	Ⅲ	130	鈴木　華代（藤田医科大学ばんたね病院 皮膚・排泄ケア認定看護師） 足立　美恵子（豊川市民病院　皮膚・排泄ケア認定看護師）	高齢者の皮膚の特徴とスキン－テア（皮膚裂傷）のメカニズムを理解し、病院・施設・在宅での予防・対処（処置）方法の実際を学ぶ。	8,000 会員:4,000
13		リンパ浮腫ケア	6/5	1日	Ⅰ	80	大前　敬子（大阪警察病院 医療徒手リンパドレナージセラピスト 緩和ケア認定看護師）他	がん患者にみられるリンパ浮腫の病態を理解し、リンパ浮腫ケアに必要な基本的知識と実際をを学ぶ。	8,000 会員:4,000
14			9/25	1日	Ⅱ	80			8,000 会員:4,000
※15		うつ・せん妄の予防と対応	10/8	1日	Ⅲ	200	服部　希恵（名古屋第一赤十字病院　精神看護専門看護師） 舘　理江（　同　精神看護専門看護師）	様々な年代・要因で生ずるうつ・せん妄の予防と、リスクの早期発見や具体的な対応方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
※16		高齢者のもてる力を活かしたケア ～実践編～	12/22	1日	Ⅳ	200	長瀬　亜岐（大阪大学大学院 老人看護専門看護師　診療看護師）	高齢者がもてる力を活かし、その人らしいて生活を送るための看護を学ぶ。	8,000 会員:4,000
※17		認知症患者の看護 ～その人らしい生活を 支援する看護～	12/4	1日	Ⅳ	200	中嶋　宏貴（医療法人和光会山田病院　医師） 加藤　滋代（藤田医科大学病院　認知症看護認定看護師）	認知症の特徴を理解し、認知症患者がその人らしい生活を送るための看護や関わり方を学ぶ。	8,000 会員:4,000
※18		心不全患者の看護 ～急性期から慢性期まで～	12/17	1日	Ⅳ	200	中島　義仁（公立陶生病院　医師） 新納　慎也（一宮市立市民病院　慢性心不全看護認定看護師）	心不全の病態と増悪因子、重症化予防のための治療と慢性心不全をコントロールするための患者教育を理解し、状態に応じた生活支援を学ぶ。	8,000 会員:4,000
19		糖尿病患者の看護 ～アセスメントと 患者・家族支援～	7/28	1日	Ⅰ	120	伊藤　光泰（医療法人誠厚会名駅前診療所保健医療センター　医師） 土川　睦子（DM NURSE LAB　糖尿病看護認定看護師）	糖尿病の病態・治療に関する知識を深め、患者及び家族支援に必要なアセスメントとケアについて学ぶ。	8,000 会員:4,000
※20		がん化学療法と看護 ～患者のライフスタイルの支援～	9/18	1日	Ⅱ	200	宮谷　美智子（愛知県がんセンター がん化学療法看護認定看護師）	がん化学療法の基本的知識を理解し、安全な投薬、曝露予防、抗がん剤による有害事象、また通院治療も視野に入れた就業支援や在宅におけるセルフケア支援について学ぶ。	8,000 会員:4,000
※21		クリティカルケア ～生命危機状態にある患者の 治療と看護～	12/18	1日	Ⅳ	220	松嶋　麻子（名古屋市立大学病院　医師） 稲尾　景子（　同　救急看護認定看護師）	生命危機状態にある患者の特徴と治療の現状、クリティカルケアに必要なフィジカルアセスメントと看護について学ぶ。	8,000 会員:4,000
22		周手術期における チーム医療と看護	9/17	1日	Ⅱ	80	後藤　紀久（岐阜大学医学部附属病院） 古市　ふみよ（　同　）	外来・病棟と手術室が連携し、患者が安心・安全に手術を受け、社会復帰するために必要な知識・技術、病棟との連携を学ぶ。	8,000 会員:4,000

※:外部会場（会場名は開催要領参照）

研修No.	目指すレベル	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
23	Ⅱ～Ⅳ	コミュニケーションに活かす コンフリクトマネジメント ～メディエーションの 理論と技法～	11/19	1日	Ⅲ	100	和田　仁孝 （早稲田大学大学院法務研究科）	事故発生時等に、患者のニーズに誠実に対応し、医療機関との橋渡しを行うメディエーターとしての看護師の役割とコミュニケーションについて学ぶ。	8,000 会員:4,000
24		いま、求められる外来看護	11/7	半日（AM）	Ⅲ	100	新良　啓子 （独立行政法人 労働者健康安全機構 東北ろうさい病院）	地域包括ケアシステムや在院日数の短縮に伴う外来看護の役割の変化と、いま外来看護に何が求められているかを知り、患者のセルフマネジメント力を高める支援方法を学ぶ。	4,000 会員:2,000
※25	Ⅲ・Ⅳ	現場で活かす 医療事故防止対策と安全教育	12/21	1日	Ⅳ	200	長尾　能雅 （名古屋大学医学部附属病院　患者安全推進部） 寺井　美峰子 （　同上　）	医療安全管理の知識を深め、医療事故発生のメカニズムと防止対策、事故発生時の対応及び安全教育について学ぶ。	8,000 会員:4,000
26	診療所に勤務する看護職	診療所における医療安全管理	8/30	半日（AM）	Ⅱ	50	福本　由美子 （藤田医科大学病院　公衆衛生看護科） 久留宮　愛 （愛知医科大学病院　感染制御部 感染管理認定看護師）	診療所および小規模施設における医療安全対策と感染対策についての知識を学ぶ。	4,000 会員:2,000

【協働する力】

※:外部会場（会場名は開催要領参照）

研修No.	目指すレベル	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
新27	Ⅰ・Ⅱ	＜JNAオンデマンド活用研修＞ 看護の倫理綱領と看護業務基準	5/29	半日（AM）	Ⅰ	60	『日常看護提供場面で理解する看護の倫理綱領と看護業務基準(2016年改訂版)』の視聴と、それをもとに演習をすることで、倫理綱領及び看護医業務基準の理解を深める。		4,000 会員:2,000
新28		＜JNAオンデマンド活用研修＞ チーム医療の構成員としての役割	5/29	半日（PM）	Ⅰ	60	『チーム医療の構成員である看護師として果たすべき役割』の視聴と、それをもとに演習をすることで、チームにおける看護師の役割の理解を深める。		4,000 会員:2,000
29	Ⅱ・Ⅲ	職場の人間関係を潤おす コミュニケーション ～アサーションの活用～	7/2	1日	Ⅰ	60	夛喜田　惠子 （愛知医科大学 看護学部）	職場内の人間関係を円滑にするために、自分も相手も大切にした自己表現ができるアサーティブな対応について学ぶ。	8,000 会員:4,000
30			8/20	1日	Ⅱ	60			8,000 会員:4,000
31		コーチングの基礎知識	11/20	1日	Ⅲ	80	中　友美 （シンカナース株式会社）	人材育成に必要なコーチングの基礎となる理論と、ティーチングとは異なるコーチング技法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
32			12/11	1日	Ⅳ	80			8,000 会員:4,000
新33		怒りとうまく向き合うための アンガーマネジメント	10/3	1日	Ⅲ	80	田辺　有理子 （横浜市立大学医学部看護学科）	看護の対象者だけでなく、多職種や同僚等と上質な人間関係を構築、自己啓発のために、アンガーマネジメントの活用方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
34	Ⅲ・Ⅳ	看護力を発揮するための チームビルディング	11/9	1日	Ⅲ	80	安達　久美子 （首都大学東京　健康福祉学部看護学科）	協働できるチームづくりのため、「仲間が思いを一つにしてゴールに向かって進んでいける組織づくり(チームビルディング)」の理論と方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
新35		小児医療と地域連携 ～子どもと家族への支援～	10/27	1日	Ⅲ	130	田﨑　あゆみ （藤田医科大学保健衛生学部看護学科） 西村　和子 （藤田医科大学地域包括ケア中核センター）	小児医療の現状と看護の実際、医療依存度の高い子どもの退院支援や地域連携について学ぶ。	8,000 会員:4,000
※36		病院(施設)と在宅をつなぐ看護 ～生活を支えるための チームアプローチ～	7/7	1日	Ⅰ	220	水野　正明 （名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター　医師） 古城　敦子 （聖霊病院　地域医療連携センター）	病院（施設）と在宅をつなぐ看護の機能・役割について学び、療養者が安心して在宅で生活するために必要なチームアプローチについて考える。	8,000 会員:4,000
※37		災害看護 ～自律と協働～	9/15	1日	Ⅱ	150	内海　清乃 （日本医科大学看護専門学校）	看護専門職として、災害発生時のリーダーシップやコミュニケーション能力、管理能力等の向上を図る。他者との協働や自律的な活動の重要性を認識する。	8,000 会員:4,000
新38	Ⅲ～Ⅴ	大人の発達障害の理解と対応	11/25	1日	Ⅲ	120	吉川　徹 （愛知県医療療育総合センター中央病院　医師）	大人の発達障害に関する基礎的知識と特性の理解を深め、適切な対応方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
新39	Ⅳ・Ⅴ	原点にもどって、看護を考える	8/5	1日	Ⅱ	120	村松　静子 （在宅看護研究センターLLP）	ナイチンゲール生誕200年を機に医師や他職種、患者・家族の懸け橋となり、その人に寄り添う看護とは何かを考える。	8,000 会員:4,000
新40	Ⅰ～Ⅴ	＜JNAオンデマンド活用研修＞ 地域での看護職連携	1/13	半日（AM）	Ⅳ	60	『地域で暮らす高齢者を支える看護職連携』の視聴と、それをもとに演習をすることで、地域で暮らす高齢者を支える看護職連携の理解を深める。		4,000 会員:2,000
新41		＜JNAオンデマンド活用研修＞ 地域での多職種連携	1/13	半日（PM）	Ⅳ	60	『複合的問題を抱えながら地域で暮らす高齢者を支える看護職・多職種連携』の視聴と、それをもとに演習をすることで、地域での高齢者を支える看護職・多職種連携の理解を深める。		4,000 会員:2,000

【意思決定を支える力】

※:外部会場（会場名は開催要領参照）

研修No.	目指すレベル	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
新※42	Ⅱ・Ⅲ	エンドオブライフケア ～患者・家族のACP・ 意思決定の支援～	9/8	1日	Ⅱ	160	山本　陽子 （名古屋大学医学部附属病院　がん看護専門看護師） 加藤　恵美 （愛知国際病院　緩和ケア認定看護師） 近藤　佳子 （名古屋療養サービス事業団）	緩和ケアに対する理解を深め病院・施設・地域と連携した看取りと、患者と家族に対する看護やACP・意思決定の支援について学ぶ。	8,000 会員:4,000
※43	Ⅱ～Ⅳ	意思決定支援と倫理	8/4	1日	Ⅱ	220	稲葉　一人 （中京大学法務総合教育研究機構）	患者・家族の意思決定の支援者であることの認識を深め、意思決定支援のプロセスと倫理的な視点を学ぶ。	8,000 会員:4,000
新44	Ⅲ・Ⅳ	＜JNAオンデマンド活用研修＞ ケアの受け手の意思決定	6/15	半日（AM）	Ⅰ	60	『ケアの受け手の意思決定における権利擁護』の視聴と、それをもとに演習を行い、ケアの受け手の意思決定における権利擁護の理解を深める。		4,000 会員:2,000
新45		＜JNAオンデマンド活用研修＞ ケアの受け手の自己決定支援	6/15	半日（PM）	Ⅰ	60	『ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働・連携』の視聴と、それをもとに演習を行い、ケアの受け手の自己決定の支援の理解を深める。		4,000 会員:2,000
※46	Ⅰ～Ⅴ	看護実践のなかにある倫理	10/12	1日	Ⅲ	180	川﨑　つま子 （東京医科歯科大学医学部附属病院）	看護職者の倫理的責務と〈語り〉〈意味〉〈ケア〉の3つの探求から、倫理的アプローチ方法を学び、看護実践のなかにある倫理に気づく感性を高める。	8,000 会員:4,000

【組織的役割遂行能力】

※:外部会場（会場名は開催要領参照）

研修No.	目指すレベル	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
47	Ⅰ・Ⅱ	看護が見える看護記録	7/30	1日	Ⅰ	80	杉浦　美佐子 （椙山女学園大学 看護学部）	専門職の責務としての看護記録の意義を理解し、何をどのように記録する必要があるのかを学ぶ。	8,000 会員:4,000
48	Ⅱ・Ⅲ	看護師に求められる役割と それぞれの立場における対応	11/10	1日	Ⅲ	80	濱田　安岐子 （NPO法人　看護職キャリアサポート）	リーダーシップ、セカンドリーダーシップ、フォロワーシップの基本的知識と理論を学び、より複雑化する人間関係を円滑にするための知識と技法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
49	Ⅲ・Ⅳ	インストラクショナルデザイン の理解と活用	10/5	1日	Ⅲ	80	政岡　祐輝 （国立循環器病研究センター）	最適な学習効効果あげるをインストラクショナルデザインの基礎となる理論と活用方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
50	Ⅲ～Ⅴ	施設内教育と インストラクショナルデザイン ～活用と改善のポイント～	8/1	1日	Ⅱ	80	浅香　えみ子 （獨協医科大学埼玉医療センター）	効果的な施設内教育を行うために、インストラクショナルデザインの活用方法と改善のポイントを学ぶ。	8,000 会員:4,000
51	Ⅲ～Ⅴ管理者	多職種との実践をつなぐ看護記録	10/20	1日	Ⅲ	120	任　和子 （京都大学大学院医学研究科）	看護記録は、看護実践の＜証明＞＜継続性と一貫性を担保＞＜評価及び質の向上を図る＞ものである。多職種との協働をつなぐツールでもあるので、マネジメントの視点から効果的な看護記録を再考する。	8,000 会員:4,000
新52		職場におけるメンタルヘルスケア ～管理者に求められる対応を 事例から考える～	6/4	半日 (PM)	Ⅰ	100	吉田　契造 （株式会社デンソー　産業医）	効率性や臨機応変な対応が求められる職場で、不適応となる職員が多くなっている。管理者として、ストレスマネジメントとメンタルヘルスの意義を理解し、対応策を学ぶ。	4,000 会員:2,000
53	Ⅳ・Ⅴ管理者	組織分析 ～管理者のための問題解決手法～	12/3	1日	Ⅳ	50	長谷川　しとみ 【演習支援】 小川　和加子 内藤　圭子 （JA愛知厚生連江南厚生病院）	スタッフが前向きな気持ちで仕事に取り組める職場環境を整備するために、組織分析の意義と必要性を知り、その方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
54		管理者に求められる組織倫理	7/30	1日	Ⅰ	80	久保田　聡美 （高知県立大学看護学部）	組織における倫理的課題および倫理的課題に対する組織的対応について学ぶ。	8,000 会員:4,000
新55		＜JNA オンデマンド活用研修＞ 「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」の理解と施設内教育への活用	11/26	1日	Ⅲ	80	塩田　美佐代 （湘南医療大学保健医療学部看護学科）	『JNAラダーの基礎的理解と施設導入に関する研修』と『施設内教育体制整備と教育活動の展開』の視聴と、講義により、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の理解と、いかに施設内教育へ活用するかを学ぶ。	8,000 会員:4,000
※56	Ⅰ～Ⅴ管理者	看護職の法的責務と看護記録	10/9	1日	Ⅲ	220	友納　理緒 （土肥法律事務所　弁護士　看護師）	看護職の法的責務を理解し、医療事故発生時のカルテ開示や訴訟時に必要とされる看護記録を判例から学ぶ。	8,000 会員:4,000

【自己教育･研究能力】

研修No.	目指すレベル	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
57	Ⅰ～Ⅲ	ストレスコーピングと アサーティブネス	9/16	1日	Ⅱ	100	鈴木　英子 （国際医療福祉大学大学院）	自分自身のストレスコーピングを振り返り、アサーティブな対応とアサーティブネスについて学ぶ。	8,000 会員:4,000
58	Ⅱ・Ⅲ	看護研究のはじめの一歩 ～研究疑問を看護研究に 結びつける方法を学ぶ～	12/16	1日	Ⅳ	60	水野　暢子 （藤田医科大学 保健衛生学部看護学科）	看護実践の場での疑問をいかに看護研究に結びつく研究疑問とするかから研究計画書の作成までの看護研究の基礎を学ぶ。	8,000 会員:4,000
新59		学会や研究会で 実践・事例報告をする時のコツ	7/10	半日 (PM)	Ⅰ	60	加藤　美奈子 （独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター） 深谷　基裕 （名古屋第二赤十字病院）	はじめて学会や研究会で発表する際に、テーマを絞り込んだり、抄録を書く時のコツを学ぶ。	4,000 会員:2,000
60	Ⅲ～Ⅴ	看護実践の質を高める 看護研究の推進 ～看護研究の支援方法を学ぶ～	11/11	1日	Ⅲ	60	杉浦　美佐子 （椙山女学園大学 看護学部） 施設での支援の実際に関する講師（2名）	実例から、現場で、管理者（指導者）が出来る支援と、施設としての支援方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
61		看護の動向と展望	2/15	半日 (PM)	Ⅳ	80	（愛知県看護協会　会長）	いま、看護職に何が求められているのか、また医療・福祉・看護の動向をしり、今後を展望することで各自が果たすべき役割や働き方を見つめる機会とする。	4,000 会員:2,000

[委員会企画研修]

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

研修No.	対象	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
62	看護職	＜保健師職能委員会＞ 母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム ～妊娠期から切れ目のない 支援のために～	8/29	半日 (PM)	Ⅱ	50	保健師 （東海市市民福祉部健康推進課） 保健師 （あいち小児保健医療総合センター 保健センター保健室）	妊娠期から子育て期までの切れ目のない効果的な支援を実現するために、必要な施策について理解し、医療的ケア児の取り組みの先進事例を知ることにより効果的かつ効率的な支援に繋げるとともに、関係機関の連携について学ぶ。	4,000 会員:2,000
63	看護職	＜看護師職能委員会Ⅰ＞ 身体拘束における検討や不必要な身体拘束への看護の工夫	11/19	半日 (PM)	Ⅲ	60	茨木　美由紀 （医療法人鉄友会宇野病院）　他	病院における身体拘束をするにあたって、3原則に基づいた検討や判断、不必要な身体拘束への看護の工夫を学ぶ。	4,000 会員:2,000
64	施設・在宅領域に勤務する看護管理、看護職	＜看護師職能委員会Ⅱ＞ 人が育つ組織づくり ～多様性を活かす～	9/9	半日 (PM)	Ⅱ	100	棚橋　さつき （高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科）	個の多様性を尊重し、それぞれの特性や持ち味を最大限生かした組織づくりのエッセンスを学ぶ。	4,000 会員:2,000
65	施設・在宅領域に勤務する看護職管理者、事務職	＜労働環境改善委員会＞ こんな職場で働きたい！と誰もが思える職場を目指して ～ヘルシーワークプレイスを根付かせ、ハラスメントのない職場をつくろう～	9月 予定	1日	Ⅱ	60	神谷　喜代子 （有限責任監査法人トーマツ）　他	「労働安全衛生ガイドライン」の理解を深め、心身の健康と安全に配慮した職場環境マネジメントに取り組めるようにする。ヘルシーワークプレイスのハザードの一つであるハラスメントに焦点を当て、ハラスメントのない職場を作るために管理者が配慮すべきことを学ぶ。	8,000 会員:4,000
✍ 66	災害支援ナースの未受講者、または災害支援ナース希望者	＜災害看護委員会＞ 災害支援ナース育成研修 ✍【専用申込用紙】	11/26	1日	Ⅲ	80	災害看護委員会	災害支援ナースとして登録する看護職が、被災地において他者と協働し、自律的に活動するための基礎的な力を、講義や演習を通して学ぶ。	8,000 会員:4,000

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

研修No.	対象	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
67	災害支援ナース登録者	＜災害看護委員会＞ 災害支援ナーススキルアップ研修	10/5	1日	Ⅲ	80	保健師 （愛知県） 大竹　まゆみ （千葉県看護協会　災害支援ナース） 大根　美千子 （千葉県看護協会　災害支援ナース）	実際の災害現場で活動した災害支援ナースや保健師の活動報告より、災害現場の実際や被災地の人々の健康支援について災害支援ナースに求められる役割を学び、活動に備える。	8,000 会員:4,000
68	看護職	＜災害看護委員会＞ 病院における災害時初動体制	7/6	1日	Ⅰ	60	大久保　貴仁 （総合大雄会病院　災害看護専門看護師）　他	大規模災害発生時の病院における初期対応について、講義と演習を通して学び、受講者自身の災害対応に関する知識と技術を高めるとともに、受講者の各職場における初動体制のための準備をすることができる。	8,000 会員:4,000
69	准看護師	＜看護制度委員会＞ 准看護師のキャリアアップ研修 ～基本から学ぼう！緊急時の対応～	7/9	半日（PM）	Ⅰ	60	井上　弥生 （JCHO中京病院　救急看護認定看護師）	緊急時の観察や対応について、認定看護師から学び、日常の看護に役立てる。	4,000 会員:2,000
70	看護職	＜地域包括ケア推進委員会＞ 看護職が知っておきたい 社会福祉制度	6/18	1日	Ⅰ	100	長岩　嘉文 （日本福祉大学中央福祉専門学校） 浅野　正嗣 （ソーシャルワーク・サポートセンター名古屋）	地域共生社会、地域包括ケアシステムの推進に向けて多職種との連携に必要な介護保険制度等の社会福祉制度及びその活用方法を学ぶ。	8,000 会員:4,000
71	看護職	＜地域包括ケア推進委員会＞ 地域で暮らす 精神障がい者への支援	9/25	半日（PM）	Ⅱ	80	菊池　美智子 （もりやま総合診療病院　精神看護専門看護師） 他	精神障がい者の社会復帰が進み、住み慣れた地域で生活することが増えているため、看護職に必要な精神保健福祉施策の知識と地域で暮らす精神障がい者のケアについて知る。	4,000 会員:2,000
新 ✍ 72	訪問看護事業所の看護管理者、またはその予定の者	訪問看護管理者研修（愛知県版） ✍【専用申込用紙】	5/16～ 令和 3年2/3	8ヶ月	3/2 ～ 3/31	20	詳細はホームページ・開催要領等を確認	訪問看護事業所の看護管理者が、管理者としての役割を認識し、行動できるようになる。	50,000 会員:26,000

【JNA収録DVD研修】

※:外部会場（会場名は開催要領参照）

研修No.	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（円）
73	災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	7/28 7/29	2日	Ⅰ	130	主催者の決定に準ずる	災害支援ナースに必要な災害医療の基礎知識や災害時に求められる看護支援活動、災害時の心理変化とこころのケアなどを学ぶ。	会　員: 6,270 非会員: 9,460
※74	【東三河地区開催】 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	10/22 10/23	2日	Ⅲ	130			会　員: 6,270 非会員: 9,460
※75	【海部地区開催】 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	11/30 12/1	2日	Ⅲ	130			会　員: 6,270 非会員: 9,460
76	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ★「認知症ケア加算２」に対応した研修 ★全時間の受講が必要	7/8 7/9	2日	Ⅰ	130	主催者の決定に準ずる 【演習支援】 滝沢　なぎさ （中部労災病院　認知症看護認定看護師）	国の施策や医療の現状を理解するとともに、入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を学ぶ。	会　員: 6,270 非会員: 9,460

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

【特定分野(養成)研修】

✎：参考図書・演習物品等の準備が必要（費用は各自負担）

研修No.	研修名	開催月日	申込区分	対象者	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
✎ ✍ 77	医療安全管理者養成研修 ★「医療安全対策加算の施設基準における、医療安全対策に係る適切な研修」 ★全時間の受講が必要 ✍【専用申込用紙】	11/9 ～ 7日 （分散）	Ⅲ	要件は開催要領を確認	45	長谷川　剛（医療法人社団愛友会上尾中央総合病院） 深見　達弥（名古屋大学医学部附属病院） 海渡　健　（東京慈恵医科大学附属病院） 杉山　良子（バラマウントベッド株式会社） 久保　美幸（刈谷豊田総合病院） 小林　美和（愛知医科大学病院） ＜医療安全管理者養成研修DVD活用＞　他	医療の質の向上と安全確保を目的とした、医療安全管理業務を遂行するために必要な知識と技術を習得し、実践能力の向上を図る。	84,000 会員:42,000
✎ ✍ 78	退院調整看護師養成研修 ✍【専用申込用紙】	7/1 ～ 実習2日 6日 （分散）	Ⅰ	・看護師実務経験が通算5年以上ある者 ・現在退院調整の任にある者又はその予定のある者 （保・助・看）	30	篠田　道子　（日本福祉大学社会福祉学部） 新田　國夫　（日本在宅ケアアライアンス） 渡邉　和子　（常滑市民病院訪問看護ステーションきずな） 竹下　真由美（名古屋大学医学部附属病院） 中沼　清美　（豊川市民病院） 成瀬　みゆき（トヨタ記念病院） 木下　智美　（愛知医科大学病院） 清水　里香　（名古屋第二赤十字病院） 真下　美枝子（愛知県看護協会）	退院調整看護師の役割を理解し、その実践に必要な知識と訪問看護の実際を学び、患者の個別性を考慮して調整できる能力を養う。 ✎**参考図書・演習物品は、開催要領・HPで確認の上、必ず持参すること**	48,000 会員:24,000
✎ ✍ 79	糖尿病重症化予防のためのフットケア研修 ★「糖尿病合併症管理料の施設基準における、糖尿病足病変の指導に係る適切な研修」 ★全時間の受講が必要	7/14 7/15 7/16 3日	Ⅰ	レベルⅢ以上で以下の要件をすべて満たす者 ・所属施設が糖尿病合併症管理料を算定するための要件のうち本研修を受講すること以外の要件が整っている施設であること ・糖尿病足病変患者の看護に5年以上従事している看護師 ・全時間の受講ができること	30	伊藤 光泰 （医療法人誠厚会 名駅前診療所保健医療センター　医師） 糖尿病看護認定看護師 土川　睦子　（DM NURSE LAB）　他	糖尿病足病変ハイリスク要因を有し、通院する患者の糖尿病足病変に関する指導のための知識・技術を習得する。 糖尿病患者のＱＯＬ向上に向けて、個別性を考慮した実践ができる人材を育成する。 ✎**参考図書・演習物品は、開催要領・HPで確認の上、必ず持参すること**	36,000 会員:18,000
✎ ✍ 80	✍【専用申込用紙】	10/27 10/28 10/29 3日	Ⅲ		30	伊藤 光泰 （医療法人誠厚会 名駅前診療所保健医療センター　医師） 糖尿病看護認定看護師 土川　睦子　（DM NURSE LAB）　他		36,000 会員:18,000

研修No.	研修名	開催月日	申込区分	対象者	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
81	認知症高齢者のケアの実際 ★「認知症ケア加算２」に対応した研修 ★全時間の受講が必要	令和3年 2/8 2/9 2日	Ⅳ	Ⅱ･Ⅲ (保･助･看) 全時間の受講ができること	60	猪口　里永子 （国立長寿医療研究センター　老人看護専門看護師） 萩原　淳子 （　同　認知症看護認定看護師） 竹内　さやか （　同　認知症看護認定看護師） 鈴木　千世 （藤田医科大学病院　認知症看護認定看護師）	国の施策や現状を理解するとともに、認知症高齢者のケアに必要な専門的知識として、症状の悪化予防と治療、ケアの実際を学ぶ。	24,000 会員:12,000
82	＜ＤＶＤ＋演習＞ 看護補助者の活用推進のための管理者研修 ★「急性期看護補助体制加算、看護補助加算」に係る適切な研修 ★全時間の受講が必要	令和2年 2/10	Ⅳ	・看護師長等 ・全時間の受講ができること	80	【演習支援】 永田　ゆかり （名古屋第二赤十字病院） 宗　典子 （JA愛知厚生連海南病院）	効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育及び労務環境について理解し、自施設における看護補助者の活用の一助とする。	12,000 会員:6,000
83	助産実践能力向上に必要な研修 「子宮収縮剤の使用と管理」	6/22 (PM)	Ⅰ	助産師 Ⅰ～Ⅳ	80	早川　博生 （あいち小児保健医療総合センター　医師）	子宮収縮剤の使用と管理について学び、助産師としての専門性を高め、助産実践能力の維持・向上を図る。	4,000 会員:2,000
84	助産実践能力向上に必要な研修 「母体感染のリスクと対応」	6/22 (PM)	Ⅰ	助産師 Ⅰ～Ⅳ	80	早川　博生 （あいち小児保健医療総合センター　医師）	母体感染のリスクと対応について学び、助産師としての専門性を高め、助産実践能力の維持・向上を図る。	4,000 会員:2,000
85	助産実践能力向上に必要な研修 「フィジカルアセスメント新生児」	7/6 (PM)	Ⅰ	助産師 Ⅰ～Ⅳ	80	加藤　有一 （安城更生病院　綜合周産期母子医療センター　医師）	新生児のフィジカルアセスメントについて学び、助産師としての専門性を高め、助産実践能力の維持・向上を図る。	4,000 会員:2,000
86	助産実践能力向上に必要な研修 「フィジカルアセスメント代謝」	7/6 (PM)	Ⅰ	助産師 Ⅰ～Ⅳ	80	早川　博生 （あいち小児保健医療総合センター　医師）	代謝のフィジカルアセスメントについて学び、助産師としての専門性を高め、助産実践能力の維持・向上を図る。	4,000 会員:2,000

【委託事業】

[愛知県委託　新人看護職員研修責任者等研修事業]

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

研修No.	研修名	開催月日	対象	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
✍87	新人看護職員　研修責任者研修 ✍【専用申込用紙】	8/21 8/24 8/25 8/28 9/4 5日	新人看護職員の研修責任者の役割を担う者、またはその予定の者	Ⅱ	30	葛本　有実子（JCHO中京病院） 末永　由理　（東京医療保健大学） 夛喜田　恵子（愛知医科大学看護学部） 川﨑　登茂子（名古屋第二赤十字病院） 靏羽　美紀　（介護老人保健施設ハピリスーツ木） 吉永　恵　（JA愛知厚生連安城更生病院）	・組織の理念に基づき、さまざまな意見や課題を集約し、新人看護職員に対する研修計画や具体的な研修プログラム策定について学ぶ。 ・研修の進捗状況の管理と評価を行い、評価に基づいた研修計画及びプログラムの修正に必要な知識を習得する。 ・教育担当者と実地指導者への教育的・精神的支援について学ぶ。	40,000 会員:20,000
✍88	新人看護職員　教育担当者研修① ✍【専用申込用紙】	9/8 9/9 9/10 9/11 9/14 5日	新人看護職員の教育担当者の役割を担う者、またはその予定の者	Ⅱ	30	相原　晶子　（藤田医科大学ばんたね病院） 小林　忠資　（①担当）（岡山理科大学） 中井　俊樹　（②担当）（愛媛大学） 棚橋　優子　（①担当）（豊川市民病院） 神原　和代　（②担当）（愛知医科大学病院） 河邉　紅美　（小牧市民病院） 櫻木　千恵子（藤田医科大学病院） 伊藤　香代　（津島市民病院）	・施設の研修責任者とともに、施設における新人看護職員研修計画の立案・実施・評価をするために必要な知識を習得する。 ・新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員研修が効果的に行われるよう、実地指導者と新人看護職員への指導と精神的支援及び関係調整について学ぶ。	40,000 会員:20,000
✍89	新人看護職員　教育担当者研修② ✍【専用申込用紙】	10/15 10/16 10/19 10/20 10/21 5日		Ⅲ	30			40,000 会員:20,000
✍90	新人看護職員　実地指導者研修① ✍【専用申込用紙】	10/2 10/ 7 10/8 10/9 10/13 5日	新人看護職員の実地指導者の役割を担う者、またはその予定の者	Ⅲ	30	小黒　智恵子（名古屋市立大学病院） 鈴木　英子　（国際医療福祉大学大学院） 嶋崎　和代　（中部大学） 萩原　有子　（豊橋市民病院） 木村　明子　（名古屋大学医学部附属病院） 吉松　由子　（名古屋市立大学病院） 森脇　典子　（愛北看護専門学校）	・施設の新人看護職員研修計画に沿って教育担当者、部署管理者とともに部署における新人看護職員の個別プログラムの立案・実施・評価をするために必要な知識を習得する。 ・新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員に対する基本看護技術の指導方法及び精神的支援について学ぶ。	40,000 会員:20,000
✍91	新人看護職員　実地指導者研修② ✍【専用申込用紙】	12/11 12/16 12/17 12/23 12/24 5日		Ⅳ	30			40,000 会員:20,000
✍92	新人看護職員　実地指導者研修③ ✍【専用申込用紙】	1/15 1/20 1/21 1/22 1/27 5日		Ⅳ	30			40,000 会員:20,000

丸数字は同内容研修の複数開催を示す

[愛知県委託　訪問看護推進事業]

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要
✎：参考図書・演習物品等の準備が必要（費用は各自負担）

研修No.	研修名	開催月日	対象	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
✎✍93	訪問看護師ブラッシュアップ研修 ✍【専用申込用紙】	7/17 7/18 8/5･6 (実習) 8/11 5日	訪問看護に従事し、業務経験３年以上の看護職	Ⅰ	20	岩野　ミカ　（ＪＡ愛知厚生連稲沢厚生病院） 神谷　雅代　（刈谷豊田総合病院） 田中　陽子　（津島市訪問看護ステーション） 古城　敦子　（聖霊病院） 渡邉　和子　（常滑市民病院訪問看護ステーションきずな） 中内　真由美（名古屋第二赤十字病院） 山下　裕美　（訪問看護ステーションパウ） 他	訪問看護に必要な知識を深めると共に、病院における最新の医療や退院調整の実際を学び、今後の訪問看護に活かす。	無料
✎✍94	病院ナースのための訪問看護研修 ✍【専用申込用紙】	7/17 8/5･6 (実習) 8/11 4日	医療機関に勤務し、訪問看護に関心がある業務経験３年以上の看護職	Ⅰ	30	岩野　ミカ　（ＪＡ愛知厚生連稲沢厚生病院） 古城　敦子　（聖霊病院） 渡邉　和子　（常滑市民病院訪問看護ステーションきずな） 中内　真由美（名古屋第二赤十字病院） 山下　裕美　（訪問看護ステーションパウ）　他	訪問看護の現状と役割に対する理解を深め、退院調整の重要性と今後の在宅医療の在り方を学ぶ。 訪問看護ステーションでの実習を通してその実際を知る。	無料
95	訪問看護スキルアップ研修 ～在宅における感染管理～ 【訪問看護師ブラッシュアップ研修公開講座】	7/18	訪問看護師	Ⅰ	40	神谷　雅代 （刈谷豊田総合病院　感染管理認定看護師） 田中　陽子 （津島市訪問看護ステーション　訪問看護認定看護師）	在宅において適切な感染管理をするために、感染管理の基本的知識を学ぶ。	無料
96	訪問看護の魅力	9/10 半日 (PM)	病院・施設に勤務する看護職	Ⅱ	40	渡邉　和子 （常滑市民病院訪問看護ステーションきずな）	患者の生活を支えその人らしさをつなぐ訪問看護の役割を理解し、訪問看護の未来を考える。	無料

[愛知県委託　在宅･介護領域職員研修事業]

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

研修No.	研修名	開催月日	日数	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
✍ 97 ～ 106	訪問看護ステーション出前講座 ✍【専用申込用紙】	7月～1月	1時間	4月～9/18	各回10名程度	訪問看護ステーションに勤務する看護職	訪問看護に必要な知識･技術を各施設の要望に応じて、講師が施設に出向き、希望の講座を実施する。	無料
✍ 107 ～ 126	介護施設の出前講座 ✍【専用申込用紙】	7月～1月	1時間	4月～9/18	各回20名程度	介護施設に勤務する職員	介護施設で必要な知識･技術を施設の要望に応じて、講師が施設に出向き、希望の講座を実施する。	無料

※:外部会場（会場名は開催要領参照）

[愛知県･名古屋市委託　看護職員認知症対応力向上研修事業]

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

研修No.	研修名	開催月日	対象	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
※ ✍ 127	看護職員認知症対応力向上研修① ★「認知症ケア加算２」に対応した研修 ★全時間の受講が必要 ✍【専用申込用紙】	8/31 9/1 9/2 3日	･指導的役割の看護職 ･2人一組 ･全時間受講できること	Ⅱ	80	栗本　聡美　（JCHO中京病院　老人看護専門看護師） 認知症看護認定看護師 加藤　滋代　（藤田医科大学病院） 徳田　美和子（AOI名古屋病院） 谷　知美　（名古屋市東部医療センター） 堀部　泰行　（名城病院） 辻野　美帆　（JCHO中京病院） 今井　智香江（JA愛知厚生連江南厚生病院） 山田　順子　（元 中部学院大学看護ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部）	認知症の現状や診断･治療及び看護、対応方法などを学び、認知症患者に関する基本的知識を習得する。また、自施設において認知症に関する知識を普及し、看護職員の対応力を向上するための研修の企画･実施方法を学ぶ。	無料
※ ✍ 128	看護職員認知症対応力向上研修② ★「認知症ケア加算２」に対応した研修 ★全時間の受講が必要 ✍【専用申込用紙】	9/28 9/29 9/30 3日		Ⅱ	80			無料

丸数字は同内容研修の複数開催を示す

[愛知県委託　看護実務者研修事業]

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

研修No.	研修名	開催月日	対象	申込区分	定員	予定講師（所属は令和2年3月現在）	研修目的・主な内容	受講料（税別:円）
✍ 129	介護施設等の看護実務者研修 ～高齢者の尊厳保持と自立した日常生活の支援～ ★全時間の受講が必要 ✍【専用申込用紙】	11/25 11/27 2日	･介護施設等に勤務する看護職 ･全時間受講できること	Ⅲ	40	齊田　浩一　（介護老人保健施設　あったの森　認定看護管理者） 鈴木　みずえ（浜松医科大学医学部看護学科） 加藤　滋代　（藤田医科大学病院　認知症看護認定看護師） 神谷　雅代　（刈谷豊田総合病院　感染管理認定看護師） 大和田　幸男（愛知医科大学病院　救急看護認定看護師） 加納　美代子（豊田地域医療センター）	高齢者の尊厳を保持し、その人が持つ能力に応じて自立した日常生活を営む支援と、権利擁護に必要な援助等を行うための知識･技術を習得する。	無料

＊ナースセンター事業として、愛知県ナースセンターが開催･運営します。

[愛知県委託　訪問看護支援事業]

詳細は、愛知県ナースセンターホームページをご覧いただくか、お電話（052-871-0600）でお問い合わせください。

研修名	開催期間	定員	対象者	研修目標	受講料（税別:円）
訪問看護職員養成講習会	6/3～9/24（週2日、32日間）	30	概ね3年未満の訪問看護従事者及び従事予定者	訪問看護に必要な基本的知識と技術を修得し、質の高い看護を提供する。	無料
訪問看護職員養成講習会（ｅラーニング） ｅラーニングと実習・講義・演習	8/3～2/19 ｅラーニング5か月 スクーリング4日 実習3日	30	看護経験3年以上の訪問看護従事者	訪問看護に必要な基本的知識と技術を修得し、質の高い看護を提供する。	ｅラーニング受講料14,000

[認定看護管理者教育課程]

研 修 名	開催月日	日数	定員	応募期間	受講要件	教育目的	受講料(税別:円)
ファーストレベル	8/20～9/17	105時間	70名	4/6～4/16	①日本国の看護師免許を有する者。 ②看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 ③管理業務に関心がある者。	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。	日本看護協会会員 150,000 非会員 225,000
	令和3年1/7～2/5	105時間	70名				
セカンドレベル	10/8～11/27	180時間	50名	6/1～6/11	①日本国の看護師免許を有する者。 ②看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 ③認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。	日本看護協会会員 230,000 非会員 345,000
サードレベル	5/21～7/31	180時間	30名	終了(次年度の募集は12月予定)	①日本国の看護師免許を有する者。 ②看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 ③認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。	多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。	日本看護協会会員 250,000 非会員 375,000

研 修 名	開催月日	日数	対象者	予定講師(所属は令和2年3月現在)	研修目的・主な内容	受講料(税別:円)
認定看護管理者　認定審査前研修	令和3年3/6	半日	当協会サードレベル修了者	認定看護管理者教育課程　主任教員・専任教員	認定審査受験予定者が自己の知識レベルを知り学習強化のポイントを明確にする。	2,000

研 修 名	開催月日	日数	対象者	定員	予定講師(所属は令和2年3月現在)	研修目的・主な内容	受講料(税別:円)
認定看護管理者教育 演習支援者のためのファシリテーション研修	7/7	1日	ファーストレベル セカンドレベル 演習支援者等	40名	平林　慶史 (有限会社ノトコード)	効果的な演習支援をするためのポイントを学ぶ。(ファシリテーターの役割、ファシリテーションの実際)	4,000

【認定看護師教育課程】

研 修 名	開催期間	時間数	日数	受講要件	教育内容	受講料(税別:円)
摂食・嚥下障害看護	9月～令和3年3月	645時間	30名	①日本国の看護師免許を有すること ②看護師免許取得後、実務研修が通算5年以上であること ③通算3年以上は特定看護分野の実務研修を行っていること	募集要項　参照	日本看護協会会員 750,000 非会員 1,125,000
訪問看護	5月～令和3年3月	645時間	20名		募集要項　参照	日本看護協会会員 750,000 非会員 1,125,000

【認定看護師フォローアップ研修】

✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要

研 修 名	開催月日	日数	対象者	定員	予定講師(所属は令和2年3月現在)	研修目的・主な内容	受講料(税別:円)
摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程 フォローアップ研修 ✍【専用申込用紙】	未定	1日	摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程修了者	130名	未定	認定看護師として最新の知見を得ると共に、認定看護師間の情報交換の場として、実践力・活動への意欲を高める。	会員・修了生 4,000
訪問看護認定看護師教育課程 フォローアップ研修 ✍【専用申込用紙】	9/26	1日	当協会訪問看護認定看護師教育課程修了者	100名	平原　優美 (あすか山訪問看護ステーション 在宅看護専門看護師)	認定看護師間の情報交換のや最新の知見を得ることを通し、実践力の向上に繋げると共に、認定看護師のネットワークを広げる。	修了生 4,000

研 修 名	開催月日	日数	対象者	予定講師(所属は令和2年3月現在)	研修目的・主な内容	受講料(税別:円)
摂食・嚥下障害看護認定看護師認定審査前研修	4/24	1日	当協会該当教育課程の修了者	摂食・嚥下障害認定看護師教育課程 主任教員・専任教員	本年度、認定審査受験予定者が、自己の分野に関する学習状況を確認し、学習強化ポイントを明確にする。	4,000
訪問看護認定看護師認定審査前研修	4/10	半日	当協会該当教育課程の修了者	訪問認定看護師教育課程 主任教員・専任教員		2,000

*修了生とは、当協会認定看護師教育課程を修了した者をいう

教育研修計画（月　別）

※：外部会場（会場名は開催要領参照）
✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要
✎：参考図書・演習物品等の準備が必要（費用は各自負担）

【Ⅰ期開催研修】

開催月	研修No.	目指すレベル	研　修　会　名	開催月日	期間	定員
5月	新27	Ⅰ・Ⅱ	＜JNAオンデマンド活用研修＞看護の倫理綱領と看護業務基準	5/29	半日（AM）	60
	新28		＜JNAオンデマンド活用研修＞チーム医療の構成員としての役割	5/29	半日（PM）	60
	新✍72		訪問看護管理者研修(愛知県版)	5/16～	8ヶ月	20
6月	10	Ⅱ・Ⅲ	褥瘡とスキン-テアの対するケア	6/29	1日	130
	13		リンパ浮腫ケア	6/5	1日	80
	新44	Ⅲ・Ⅳ	＜JNAオンデマンド活用研修＞ケアの受け手の意思決定	6/15	半日（AM）	60
	新45		＜JNAオンデマンド活用研修＞ケアの受け手の自己決定支援	6/15	半日（PM）	60
	新52	Ⅲ～Ⅴ	職場におけるメンタルヘルスケア　～管理者に求められる対応を事例から考える～	6/4	半日（PM）	100
	70		＜地域包括ケア推進委員会＞看護職が知っておきたい社会福祉制度	6/18	1日	100
	83		助産実践能力向上に必要な研修「子宮収縮剤の使用と管理」	6/22	90分（PM）	80
	84		助産実践能力向上に必要な研修「母体感染のリスクと対応」	6/22	90分（PM）	80
7月	19	Ⅱ・Ⅲ	糖尿病患者の看護　～アセスメントと患者・家族支援～	7/28	1日	120
	29		職場の人間関係を潤すコミュニケーション　～アサーションの活用～	7/2	1日	60
	※36	Ⅲ・Ⅳ	病院(施設)と在宅をつなぐ看護　～生活を支えるためのチームアプローチ～	7/7	1日	220
	47	Ⅰ・Ⅱ	看護が見える看護記録	7/30	1日	80
	54	Ⅳ・Ⅴ	管理者に求められる組織倫理	7/30	1日	80
	新59	Ⅱ・Ⅲ	学会や研究会で実践・事例報告をする時のコツ	7/10	半日（PM）	60
	68		＜災害看護委員会＞病院における災害時初動体制	7/6	1日	60
	69		＜看護制度委員会＞准看護師のキャリアアップ研修　～基本から学ぼう!緊急時の対応～	7/9	半日（PM）	60
	73		＜JNA収録DVD研修＞災害支援ナースの第一歩　～災害看護の基礎的知識～	7/28・29	2日	130
	76		＜JNA収録DVD研修＞認知症高齢者の看護実践に必要な知識	7/8・9	2日	130
	✎✍78		退院調整看護師養成研修	7/1～	6日(分散)	30
	✎✍79	Ⅲ～Ⅴ	糖尿病重症化予防のためのフットケア研修	7/14～	3日	30
	85		助産実践能力向上に必要な研修「フィジカルアセスメント新生児」	7/6	90分（PM）	80
	86		助産実践能力向上に必要な研修「フィジカルアセスメント代謝」	7/6	90分（PM）	80
	✎✍93		訪問看護師ブラッシュアップ研修	7/17～	5日(分散)	20
	✎✍94		病院ナースのための訪問看護研修	7/17～	4日(分散)	30
	95		訪問看護スキルアップ研修　～在宅における感染管理～【訪問看護師ブラッシュアップ研修公開講座】	7/18	1日	40

【Ⅱ期開催研修】

開催月	研修No.	目指すレベル	研　修　会　名	開催月日	期間	定員
8月	※1	Ⅰ・Ⅱ	実践に活かすフィジカルアセスメント	8/3	1日	210
	✎※7		誤嚥性肺炎の予防とケア	8/27	1日	220
	※8	Ⅰ～Ⅲ	看護の場で必要な感染管理	8/7	1日	170
	26	診療所に勤務する看護職	診療所における医療安全管理	8/30	半日（AM）	50
	30	Ⅱ・Ⅲ	職場の人間関係を潤すコミュニケーション　～アサーションの活用～	8/20	1日	60
	新39	Ⅳ・Ⅴ	原点にもどって、看護を考える	8/5	1日	120
	※43	Ⅱ～Ⅳ	意思決定支援と倫理	8/4	1日	220
	50	Ⅲ～Ⅴ	施設内教育とインストラクショナルデザイン　～活用と改善のポイント～	8/1	1日	80
	62		＜保健師職能委員会＞母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム　～妊娠期から切れ目のない支援のために～	8/29	半日（PM）	50
	✍87		新人看護職員　研修責任者研修	8/21～	5日(分散)	30
	※✍127		看護職員認知症対応力向上研修①	8/31～	3日	80

※：外部会場（会場名は開催要領参照）
✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要
✎：参考図書・演習物品等の準備が必要（費用は各自負担）

開催月	研修No.	目指すレベル	研　修　会　名	開催月日	期間	定員
9月	14	Ⅱ・Ⅲ	リンパ浮腫ケア	9/25	1日	80
	※20		がん化学療法と看護　～患者のライフスタイルの支援～	9/18	1日	200
	22		周手術期におけるチーム医療と看護	9/17	1日	80
	※37	Ⅲ・Ⅳ	災害看護　～自律と協働～	9/15	1日	150
	新※42	Ⅱ・Ⅲ	エンドオブライフケア　～患者・家族のACP・意思決定の支援～	9/8	1日	160
	57	Ⅰ～Ⅲ	ストレスコーピングとアサーティブネス	9/16	1日	100
	64		＜看護師職能委員会Ⅱ＞人が育つ組織づくり　～多様性を活かす～	9/9	半日（PM）	100
	65		＜労働環境改善委員会＞こんな職場で働きたい!と誰もが思える職場を目指して ～ヘルシーワークブレイスを根付かせ、ハラスメントのない職場をつくろう～	9月予定	1日	60
	71		＜地域包括ケア推進委員会＞地域で暮らす精神障がい者への支援	9/25	半日（PM）	80
	✍88		新人看護職員　教育担当者研修①	9/8～	5日（分散）	30
	96		訪問看護の魅力	9/10	半日（PM）	40
	※✍128		看護職員認知症対応力向上研修②	9/28～	3日	80

【Ⅲ期開催研修】

開催月	研修No.	目指すレベル	研　修　会　名	開催月日	期間	定員
10月	※3	Ⅰ・Ⅱ	急変をどう予測するか	10/6	1日	210
	新5	Ⅱ・Ⅲ	小児のフィジカルアセスメント　～子どもの状態を的確に把握するためのポイント～	10/30	1日	80
	6	Ⅲ・Ⅳ	先輩ナースのためのフィジカルアセスメント	10/2	1日	120
	※15	Ⅱ・Ⅲ	うつ・せん妄の予防と対応	10/8	1日	200
	新33		怒りとうまく向き合うためのアンガーマネジメント	10/3	1日	80
	新35	Ⅲ・Ⅳ	小児医療と地域連携　～子どもと家族への支援～	10/27	1日	130
	※46	Ⅰ～Ⅴ	看護実践のなかにある倫理	10/12	1日	180
	49	Ⅲ・Ⅳ	インストラクショナルデザインの理解と活用	10/5	1日	80
	51	Ⅲ～Ⅴ	多職種との実践をつなぐ看護記録	10/20	1日	120
	※56	Ⅰ～Ⅴ	看護職の法的責務と看護記録	10/9	1日	220
	67		＜災害看護委員会＞災害支援ナーススキルアップ研修	10/5	1日	80
	※74		＜JNA収録DVD研修＞災害支援ナースの第一歩　～災害看護の基礎的知識～	10/22・23	2日	130
	✎✍80	Ⅲ～Ⅴ	糖尿病重症化予防のためのフットケア研修	10/27～	3日	30
	✍89		新人看護職員　教育担当者研修②	10/15～	5日（分散）	30
	✍90		新人看護職員　実地指導者研修①	10/2～	5日（分散）	30

※：外部会場（会場名は開催要領参照）
✍：各研修専用申込用紙での申し込みが必要
✎：参考図書・演習物品等の準備が必要（費用は各自負担）

開催月	研修No.	目指すレベル	研　修　会　名	開催月日	期間	定員
11月	※2	Ⅰ・Ⅱ	実践に活かすフィジカルアセスメント	11/17	1日	210
	※9	Ⅱ・Ⅲ	呼吸器ケア　～慢性呼吸器疾患に対する病院・在宅での呼吸管理～	11/4	1日	160
	11		褥瘡とスキン-テアに対するケア	11/13	1日	130
	✎12		高齢者のスキン-テア　～病院・施設・在宅で応用できるスキルを学ぼう～	11/4	1日	130
	23	Ⅱ～Ⅳ	コミュニケーションに活かすコンフリクトマネジメント　～メディエーションの理論と技法～	11/19	1日	100
	24		いま、求められる外来看護	11/7	半日（AM）	100
	31	Ⅱ・Ⅲ	コーチングの基礎知識	11/20	1日	80
	34	Ⅲ・Ⅳ	看護力を発揮するためのチームビルディング	11/9	1日	80
	新38	Ⅲ～Ⅴ	大人の発達障害の理解と対応	11/25	1日	120
	48	Ⅱ・Ⅲ	看護師に求められる役割とそれぞれの立場における対応	11/10	1日	80
	新55	Ⅳ・Ⅴ	＜JNAオンデマンド活用研修＞「看護師のクリニカルラダー(JNA版)」の理解と施設内教育への活用	11/26	1日	80
	60	Ⅲ～Ⅴ	看護実践の質を高める看護研究の推進　～看護研究の支援方法を学ぶ～	11/11	1日	60
	63		＜看護師職能委員会Ⅰ＞身体拘束における検討や不必要な身体拘束への看護の工夫	11/19	半日（PM）	60
	✍66		＜災害看護委員会＞災害支援ナース育成研修	11/26	1日	80
	※75		＜JNA収録DVD研修＞災害支援ナースの第一歩　～災害看護の基礎的知識～	11/30・12/1	2日	130
	✎✍77		医療安全管理者養成研修	11/9～	7日（分散）	45
	✍129		介護施設等の看護実務者研修　～高齢者の尊厳保持と自立した日常生活の支援～	11/25・27	2日	40

【Ⅳ期開催研修】

開催月	研修No.	目指すレベル	研　修　会　名	開催月日	期間	定員
12月	※4	Ⅰ・Ⅱ	急変をどう予測するか	12/15	1日	210
	※16	Ⅱ・Ⅲ	高齢者のもてる力を活かしたケア　～実践編～	12/22	1日	200
	※17		認知症患者の看護　～その人らしい生活を支援する看護～	12/4	1日	200
	※18		心不全患者の看護　～急性期から慢性期まで～	12/17	1日	200
	※21		クリティカルケア　～生命危機状態にある患者の治療と看護～	12/18	1日	220
	※25	Ⅲ・Ⅳ	現場で活かす医療事故防止対策と安全教育	12/21	1日	200
	32	Ⅱ・Ⅲ	コーチングの基礎知識	12/11	1日	80
	53	Ⅳ・Ⅴ	組織分析　～管理者のための問題解決手法～	12/3	1日	50
	58	Ⅱ・Ⅲ	看護研究のはじめの一歩　～研究疑問を看護研究に結びつける方法を学ぶ～	12/16	1日	60
	✍91		新人看護職員　実地指導者研修②	12/11～	5日（分散）	30
1月	新40	Ⅰ～Ⅴ	＜JNAオンデマンド活用研修＞地域での看護職連携	1/13	半日（AM）	60
	新41		＜JNAオンデマンド活用研修＞地域での多職種連携	1/13	半日（PM）	60
	✍92		新人看護職員　実地指導者研修③	1/15～	5日（分散）	30
2月	61	Ⅲ～Ⅴ	看護の動向と展望	2/15	半日（PM）	80
	81	Ⅱ・Ⅲ	認知症高齢者のケアの実際	2/8・9	2日	60
	82		＜DVD+演習＞看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	2/10	1日	80

*丸数字は同内容研修の複数開催を示す

第36回　愛知県看護学会　開催要領

1　目　　的　実践に根ざした看護研究を推進し、看護の質の向上を図る

2　テ ー マ　地域包括ケア時代の新たな看護実践の創造

3　開催日時　令和２年12月９日（水）10：00～16：00

4　主　　催　公益社団法人　愛知県看護協会

5　会　　場　愛知県産業労働センター　（ウインクあいち）
名古屋市中村区名駅４丁目４－38

6　内　　容
（１）研究発表　　口演発表・示説発表　　４０ 題
（２）特別講演
テーマ：地域包括ケア時代における看護職者のグローバルかつローカルな視点とは
講　師：南　裕子
神戸市立看護大学　学長
（３）シンポジウム　　地域包括ケア時代における看護職者の連携
（４）学会発表支援講座　　事例・実践報告の進め方・まとめ方・発表のしかた
（５）交流セッション　　地域包括ケアおよび看－看連携に関するセッション（2セッション）
※ランチョンセミナー（予定）

7　演題応募
（１）応募資格　　令和２年度愛知県看護協会会員・学生（看護師免許未取得の看護学生）
（２）応募方法　　「愛知県看護学会　演題応募・発表要旨執筆要領」参照
（３）応募期間　　令和２年６月１日（月）～７月 １０ 日（金）必着

8　学会参加
（１）参加資格　　愛知県看護協会会員・非会員、学生（看護師免許未取得の看護学生）
（２）参加費（消費税込）　　※参加費には集録代を含む

	愛知県看護協会 会員	非会員	看護学生
事前参加登録	4,400円	6,600円	2,200円
当日参加登録	6,600円	8,800円	2,750円
集録のみ購入	1,650円／冊		

（３）参加申込方法　（ 原則、個人申込み。発表者も申込みが必要）
①「参加・集録購入申込書 （ 別紙 ）」を記入する。
（一人一枚記入。参加券と集録の送付先を必ず明記）
※学校単位での参加申込みは看護職を代表として、取りまとめのうえ、参加者名簿を添付する。
②参加費を振込む。（振込手数料は申込者負担）

【振込先】
三菱ＵＦＪ銀行すずかぜ支店
普通口座　１１３０００３
公益社団法人 愛知県看護協会
（コウエキシャダンホウジン アイチケンカンゴキョウカイ）

③②の振込み完了を証明できるもの（振込金受領書のコピー等）を
「参加・集録購入申込書」に貼付して下記宛てに郵送する。

【郵送先】
〒466-0054
名古屋市昭和区円上町 26 番 18 号
愛知県看護協会 学会事務局

※参加費振り込み後の返金は致しません
（４）事前申込期間　　令和２年９月１日（火）～ １１ 月 １３ 日（金）
（５）参加通知　　参加券と集録は学会 1 週間前をめどに個人宛てに送付する。

愛知県看護学会　参加・集録購入申込書

参加区分に レ 印をつけてください。

- □ 研究発表者（ □ 愛知県看護協会会員　□ 看護学生 ）
- □ 共同研究者（ □ 愛知県看護協会会員　□ 非会員 ）
- □ 一般参加者（ □ 愛知県看護協会会員　□ 非会員　□ 看護学生 ）
- □ 集録のみ購入（　　冊）

ふりがな
氏　名
生年月日(西暦)　　年　　月　　日生

所属施設名

施設所在地　〒　　－

連絡先
TEL（　　）　　－
内線（　　）
FAX（　　）　　－

会員確認

看護協会会員証のコピーを
貼ってください

振込明細書等貼付欄

のりしろ（ 学会参加費の振込を証明するもの（コピー）を貼ってください）

集録・学会参加券の送付先　□ 施 設　（必ずご記入ください）
□ 自 宅

〒　　－

住　所

※ 施設宛ての場合は、施設名を記載してください

氏　名　　様

愛知県看護学会　演題応募・発表要旨執筆要領

1　演題応募者の資格

当該年度の愛知県看護協会会員、または、看護師免許未取得の看護学生。

2　対象とする演題

1）演題（研究発表、実践報告、事例報告）は未発表のもの。（施設内発表のものは可）

2）倫理的に配慮された内容であり、その旨が本文中に明記されているもの。

3　応募方法

1）演題応募受付は、E-mail（gakkai@aichi-kangokyokai.or.jp）で行う。

（1）原稿と「演題申込書」、「演題登録チェックリスト」をE-mailに添付して送信する。　**※期限厳守**
送信メールの「件名」に、「所属施設名、発表者氏名」を記載する。

（2）原稿は「発表要旨作成手引き」（P.24･25）に準じて作成する。（書式はホームページからダウンロード可能）

（3）「演題申込書」（P.23）をホームページよりダウンロードし、必要事項を記入する。
所属施設名は正式な名称で記載する。

（4）**演題応募をされたメールアドレスに、学会事務局から査読結果などを送信する。**

4　演題の採否

演題の採否は学会委員会で選考・査読のうえ、結果を通知する。
なお、提出された書類・記録媒体は採否に関わらず返却しない。

5　発表要旨記載方法（原稿の書式はホームページからダウンロード可能）

1）原稿は、当用漢字、新かなづかいを用い、外国語はカタカナ表記、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語等は原語にて表記する。ワープロまたはパソコンによる印書とする。

2）用紙は、Ａ４サイズの白色無地、図表も含め２枚以内とする。

3）書式は以下の通りとし、**すべて白黒**で作成する。（書式･表･図･配置等、「発表要旨作成の手引き」（P.24･25）を参照）

（1）表題：演題は１２ポイントの明朝体、所属施設名や発表者氏名は、10ポイントの明朝体とする。

（2）本文

・二段組みとし、ページ設定、文字サイズ、書体、文字数や行数の変更は不可。
・文字サイズは10ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。
・数字はアラビア数字（1･2･3のような算用数字）を用い、単位や符号は慣用のものを使用する。
・「はじめに」、「目的」、「方法」、「倫理的配慮」、「結果」、「考察」、「結論」等の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号を付ける。また、「はじめに」では、先行文献を検討した旨を明記し、倫理的配慮については「倫理的配慮とその記述方法に関する留意点」（P.26～28）を参照する。

（3）写真・図・表

①　写真は白黒で、そのまま使用でできる鮮明なものとする。写真は図として扱う。

②　図（figure）の形式

・図の下に通し番号とタイトルをつける（図１、図２・・・）。
・タイトルは内容が簡潔にわかるようにする。
・タイトルはセンタリングまたは左寄せにする。
・Ｘ軸Ｙ軸が何を表すのかを明示。
・Ｘ軸・Ｙ軸の単位を記載する。（人や%などの単位を記載、標本数（ｎ＝　　）をつける）
・図は白黒で作成する。（色のちがいを使わず、実線・破線等で区別する）

③　表（table）の形式

・表の上に通し番号とタイトルをつける（表１、表２・・・）。
・タイトルは内容が簡潔にわかるようにする。
・タイトルはセンタリングまたは左寄せにする。
・表はタテ罫線を極力使わず、スペースで項目を区別する。
・行や列の頭に項目を記入する。
・数値の表示は、小数点以下の桁数をそろえ、小数点の位置は列の位をそろえる。
・個々の変数について単位を明記する。
・脚注を上手に利用する。

4）見出しの符号は以下の順で用いる。
Ⅰ Ⅱ Ⅲ → 1 2 3 → 1） 2） 3） →（1）（2）（3） → ① ② ③
・符号には句読点を打たず、1字あけて文章を記載する。
・大見出し（Ⅰ Ⅱ Ⅲ・・・）の前行は、必ず1行あける。
5）文体は、「である」調とし、句読点は「、」「。」を用いる。
6）文献の記載方法
（1）引用文献は、引用順に本文の引用箇所の右肩に[1) 2)]と番号をつけ、本文末尾に一括して記載する。
（2）共著者は3名まで表記し、それ以外は「他」とする。
（3）引用文献は下記に示すように記載する。
① 雑誌掲載論文
◆著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦）.
例）学会花子：看護研究の○○について，日本看護△△学会，25（11），p.35，2011.
例）学会花子，愛知太郎，高辻看子，他：安楽を考慮した体位交換，第○回日本看護学会論文集（看護管理），p.10-20，2016.
② 単行本
◆著者名：書名（版），発行所，頁，発行年（西暦）.
例）学会花子：看護実践研究の手引き（3），○○看護出版，p.145-148，2006.
◆著者名：表題名，編者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦）.
例）学会花子：看護研究における○○，日本協子編，看護実践研究（2），△△出版，p.76-88，2007.
例）前掲書1），p.100-115.
③ 翻訳書
◆原著者名：書名（版），原書の発行年，訳者名，日本語の書名（版），発行所，頁，翻訳本の発行年（西暦）.
例）Alice Williams：Nursing Research（4），2001，学会花子訳,看護研究（4），○○看護出版，p.298-299，2003.
④ 電子文献
◆著者名：表題名，雑誌名，巻（号），発行年（西暦）．アクセス年月日，URL.
◆発行機関名（調査／発行年次），表題，アクセス年月日，URL.
例）文部科学省，厚生労働省（2014），人を対象にする医学系研究に関する倫理指針，2017年11月22日閲覧，http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf.
※公的機関から提供される情報（統計、法令等）、電子ジャーナルのみを対象にする。

【 注意点 】
・引用文献は、文章そのものを引用する場合と、論文全体の結果を引用する場合があり、どちらも引用文献として扱う。文献の内容を要約した場合も引用文献として記載する。
・本文の最後の引用文献一覧は、引用文献のみを記載する。
・本文中の引用箇所の番号と本文の最後の引用文献一覧の番号は一致させる。
・インターネット上でダウンロード可能で、書籍としても発行されている文献の場合、発行された書籍を原典（引用元）として引用する。
・孫引き（他の本に引用されている部分を、原典を調べないでそのまま引用すること）はせず、必ず原典を引用する。
7）謝辞を記載する場合は、結論と文献の間とする。
8）集録集にそのまま印刷されるため、完全な原稿として提出する。

6 集録の作成
採択された演題の発表要旨で集録を作成する。

別紙１

第 36 回 愛知県看護学会　演題申込書

演 題 (タイトル)			
発 表 者	ふりがな 氏　　名	年　齢 歳	性　別 男・女

所属施設名

施設所在地　　〒　　－

連絡先

所属部署名（　　）

TEL（　　）　　－

内線（　　）

FAX（　　）　　－

E-mail：

発表者の会員確認

看護協会会員証の
コピーを貼ってください

職種（〇をつけて下さい）

保健師 ・ 助産師 ・ 看護師 ・ 准看護師

看護学生（看護師免許未取得）

発表形式希望 (〇で囲む)	口演	示説	どちらでもよい
共同研究者	氏　名	ふりがな	愛知県看護協会　会員番号 ※非会員、看護学生はその旨を記載

＜個人情報の取り扱い＞

本会の個人情報保護方針および規程に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。この個人情報は、愛知県看護学会に伴う事務手続き、書類発送に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはいたしません。

別紙２

【発表要旨作成の手引き】　１枚目

余白 20mm

看護事業所におけるワークライフバランス導入活動
～ノー残業デイ導入前後での意識変化～

演題
（12ポイント　MS 明朝体）
副題
（12ポイント　MS 明朝体）

１行あける

愛知フラワー事業所
○高辻看子・学会花子

施設名
（10ポイント　MS 明朝体）
氏名
（10ポイント　MS 明朝体）
発表者の前に○をつける

10 行分あける

Ⅰ　はじめに
なぜこのテーマに取り組まれたのか、研究の動機を分かりやすく記述する。
〈注意点〉
① リサーチクエスチョンについて記述する
臨床で実際に起こった事象などを記載し、先行文献ではどの部分が調査されているかを記述する。
② 調査されていないことを研究のテーマとしたことを記述する。（研究の動機）
③ この研究で明らかにされると思われること（研究の意義）を記述する。

余白 15mm

余白 10mm

余白 15mm

24 字×40 行

Ⅱ　目的
この研究で何を明らかにしようとしているのかを記述する。研究の動機とは違うので注意する。

Ⅲ　用語の定義
研究のなかで重要な用語は定義を記述する。ない場合は、記述しなくてもよい。記述しない場合は、以下「Ⅲ　方法」とローマ数字を変更する。

Ⅳ　方法
研究の期間、調査方法など研究の方法を以下のように記述する。
〈記載例〉
1　研究デザイン：量的研究
2　データ収集期間：201○年△月×日～201○年▲月□日
3　研究対象者：A 病院 B 病棟看護師■名
4　データ収集方法
5　倫理的配慮
〈注意点〉
① 他者が読み、同様な手順で研究を進めることができるように分かりやすく記述する。
② 量的研究であれば、対象の選定方法、質問紙の概要、配布・収集方法、データの分析方法などを記述する。
③ 質的研究であれば、対象者の選定方法、データの収集方法と分析方法を記述する。データ分析方法においては、データの妥当性が担保できる内容（例：研究者●名で意見が一致するまで検討した）も記述する。
④ データ収集方法は過去形で記載する。
⑤ どのような倫理的配慮をしたのかについて簡潔に記述する。所属施設の倫理委員会などの承認を得ている場合は承認番号も記載する。
（倫理的配慮については別紙参照）

Ⅴ　結果
調査によって得られたデータを以下のように簡潔に示す。
〈注意点〉
① 記述スペースが限られているため、考察で必要なデータのみ記述する。
② 調査方法はⅢ　方法に記述されているためここでは記述しない。（同じ内容のものは記述しない。）
③ 量的研究では、記述統計、検定結果を分かりやすく記述する。図表を用いて記載をしても良い。

余白 20mm

別紙２

２枚目

余白 20mm

24 字×50 行

24 字×50 行

余白 15mm

余白 10mm

余白 15mm

Ⅵ　考察
〈注意点〉
①結果で記述されていたことに対し考察を行う。結果に記載されていないことは考察では記述できない。
②得られた結果を、先行研究の結果や既存の理論などと比較し考察を行う。同様の結果が出ている理由、違う結果が出ている理由などを考察し、何がこの研究のオリジナリティなのかを記述する。
③結果の羅列はしない。

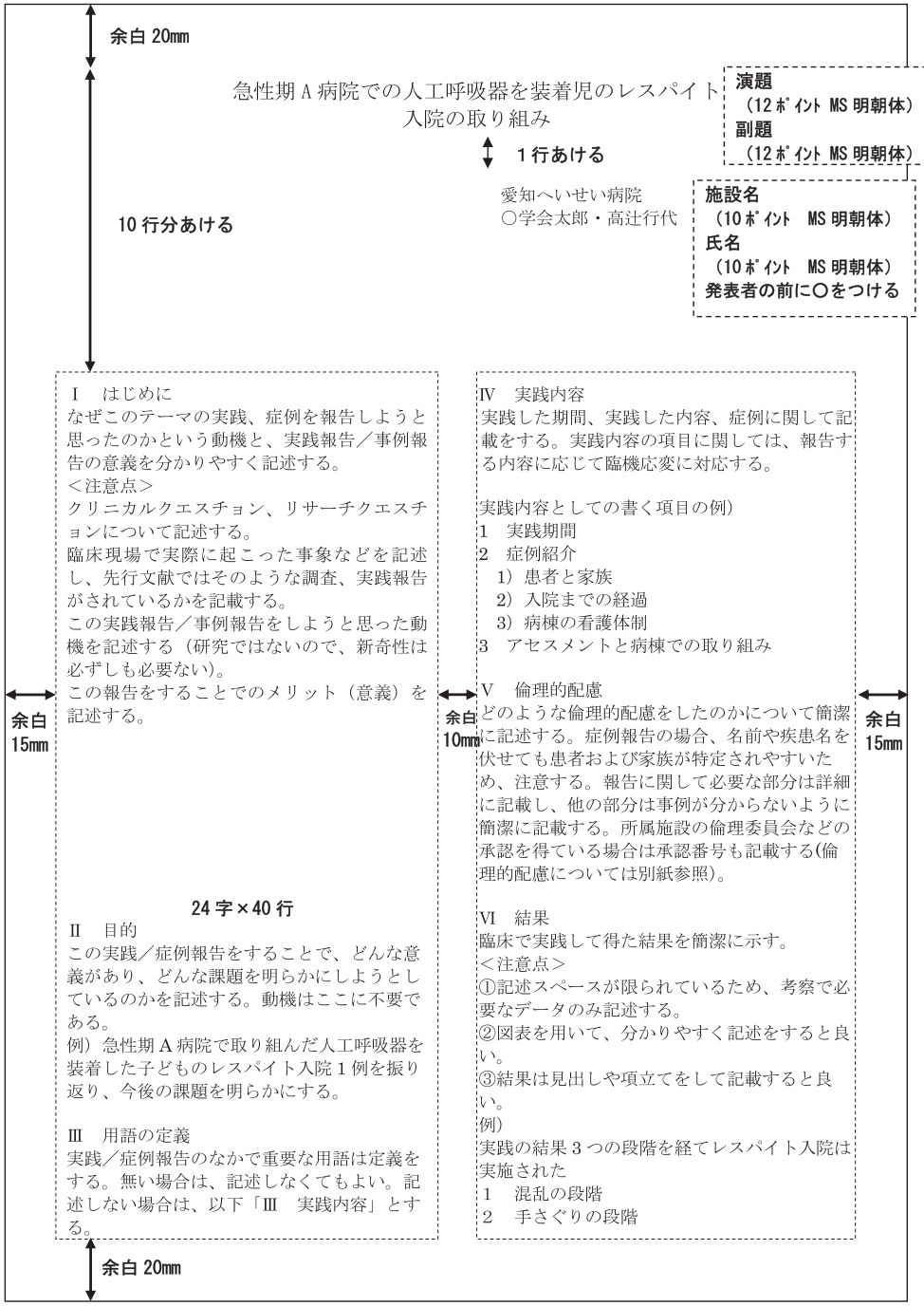
Ⅶ　結論
〈注意点〉
①考察された内容から、この研究で明らかにしたいこと（目的）に対して、何が明らかになったのか、残されている課題は何かなどを簡潔に記述する。
②目的に応じた内容となっている。
《1 行あける》
利益相反について記載する。
〈記載例〉演題に開示すべき利益相反はない。
《1 行あける》
文献
1）□□□

＜その他、留意していただきたい事項＞
①主語、目的語が抜けないように、5W1H に留意して記載する。
②ひとつの段落には、同一の内容を記述する。文頭と文末の内容がずれていない。
③意味が同じ単語は統一した単語を使用する。
（例：ナース・スタッフ・看護師→看護師）
④平易な言葉を使用し、誰もが内容を理解できるように心がける。
⑤提出前には再度全体の確認を行い、誤字・脱字、内容の重複がないか、要領に沿った記述（半角・全角、番号ふり、フォントなど）ができているか、文章は読みやすいかなどチェックを行い提出する。

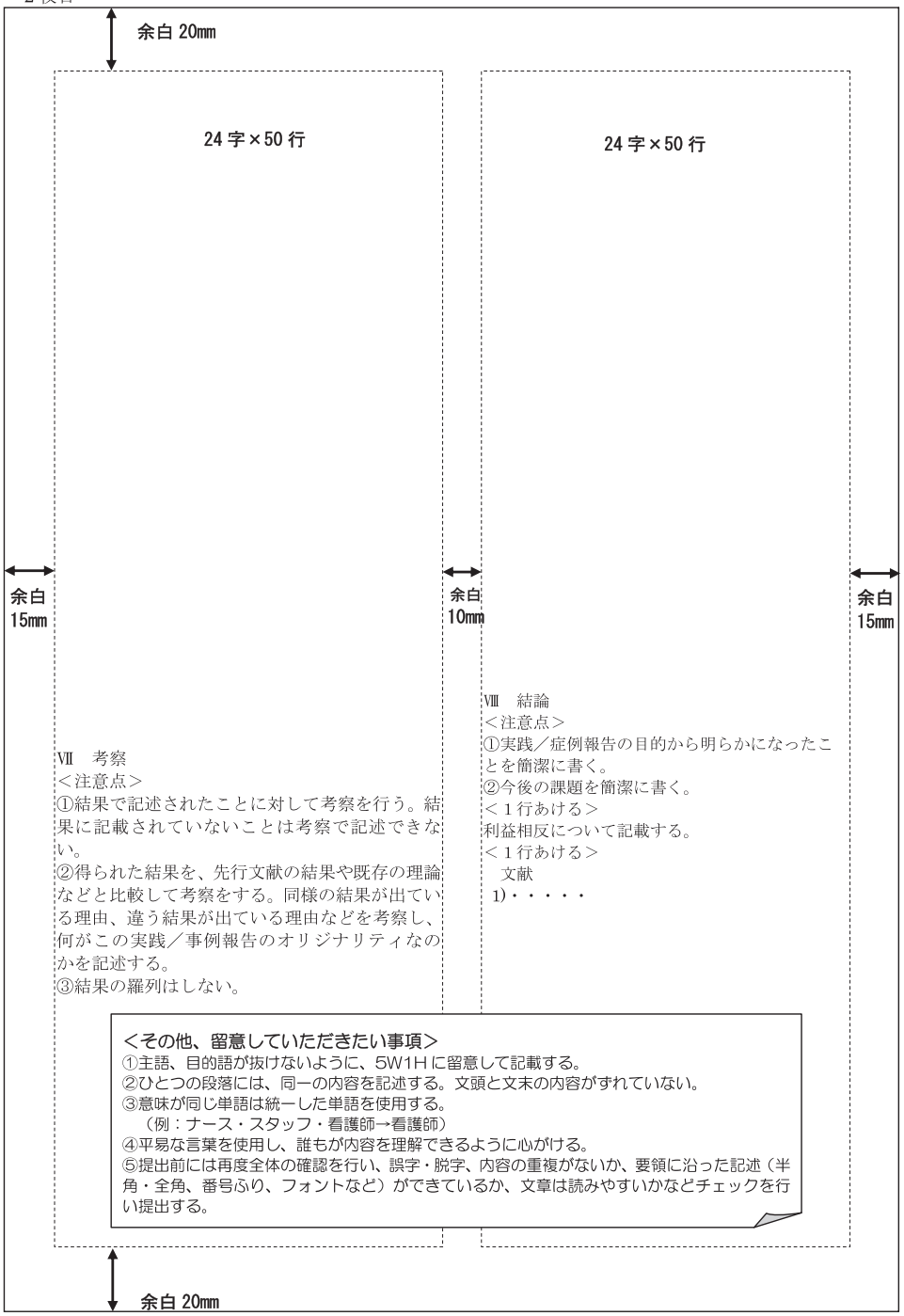
余白 20mm

[事例・実践報告発表要旨作成の手引き]

１枚目



２枚目



看護研究における倫理的配慮とその記述方法に関する留意点

これまで愛知県看護学会へ応募された皆様の研究を拝見し、共通の課題として以下の 6 点が挙げられています。ぜひご一読いただき、抄録作成、研究発表及び論文作成に役立ててください。

1. 研究課題とその背景にあるものを先行研究から調べることについて

◇◆研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし、発表の意義を明確に◆◇

研究課題は看護の実践の現場から生み出された貴重なテーマです。実践のなかからこの研究課題が明らかになった後は、このテーマに関する文献を読み、これまでの先輩研究者たちがどのような研究をしてきたのかを知り、何がわかっていて何がわかっていないのか、今、何が問題となっているのかを調べるために行います。これが研究の背景となるものです。そのなかから、自分の研究の位置付けを考えます。この研究の背景を知らずに研究を行うことは、同じ研究が繰り返されることになりかねません。これは研究のオリジナリティや研究の価値という側面からみて、問題を含むことになります。

◇◆研究結果が出ているテーマを繰り返すことは、倫理的に問題◆◇

すでに研究結果が明らかになっている研究テーマを再度行うことは、研究対象者に不必要な労力を与えることになり、倫理的に問題があると考えられます。文献検討を行い研究の背景を明らかにする過程で、自分の研究テーマもより洗練されますので、この点について意識して取り組んでください。

2. 「当院」「当病棟」などの表記について

◇◆研究フィールドを特定されない表記に◆◇

当院、当病棟という表現ならびにイニシャルを使った表現は、著者の所属を見ることによって、固有名詞を使っているのと同じことになり、研究フィールドが特定されます。また、同時に当院、当病棟では、どういう種類の病院なのか、病棟なのかは伝わりません。この 2 つの理由から、当院、当病棟あるいは○○病棟といった表記は論文では使われていません。院内発表では、当院、当病棟などの表現は自然であり、病棟の性質も分かっているわけですが、施設を離れた全国規模の発表ですので、以下の例を参考の上、変更してください。

例：「私立総合病院の内科病棟」、地域性の表示がその論文にとって必要であれば「関東近郊の公立病院」、規模が必要であれば「300 床の公立総合病院」、役割を伝えたいならば「公立総合病院でその地区の感染症の中核病院」など、論文を理解する上で必要な説明を加えて表記します。

◇◆研究フィールドを特定されない表記であれば、著者の所属が明記されても憶測にすぎない◆◇

このように変更しても、著者の所属をみれば、研究フィールドは特定できるという疑問があるかと思います。研究フィールドはこの病院だろうと読者は思うでしょうが、論文中にフィールドを特定する表現がなければ、それは憶測にすぎません。研究の対象者ならびに研究フィールドを守る観点から、フィールドの特定を避けることが研究者の責任です。

3. 研究対象者への同意および個人情報の記載について

◇◆研究対象者に研究目的を説明し、自由意思で研究の同意を得たことの記載を明確に◆◇

研究対象者への研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を伝えた上で同意を得たことを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。応募された研究の中には学生を対象とした研究もあり、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば、入院中に病棟の看護ケアの質評価を、無記名で依頼を行っても、入院中の患者が自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も、授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながります。

◇◆適切に判断ができない状態の対象者の場合は、代理人もしくは倫理委員会等で承認を得たことを記載◆◇

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合には、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

◇◆研究対象者に含めるべき人々を明確にし、同意を得たことを記載◆◇

研究対象者に含めるべき人々を明確にします。看護師へのインタビューを行った研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得ておく必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には家族もしくは病院の倫理委員会等

で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも可能な限り研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理委員会等での同意が必要となります。

◇◆実習で担当した患者のデータを用いる場合、患者もしくは倫理委員会で承認を得たことを記載◆◇

看護学生が病院実習で担当した患者との関りを事例としてまとめる場合、個人が特定されない配慮が求められます。また、データを用いるにあたり、実習で担当することに関する同意とは別に、事例としてまとめることに関する同意を可能な限り患者から得ます。それが困難な場合には、病院の倫理委員会等での同意が必要となります。患者もしくは病院の倫理委員会等から同意を得た場合は、その旨を記載してください。

◇◆研究対象者の個人情報は特定されない表記に◆◇

データの解釈に必要な研究対象者の情報は記載が必要です。しかし、それ以上の不必要な個人情報を論文で公表することは避けなければなりません。たとえば、入退院年月日、通院期間の年月日、名前のイニシャルなどです。公表するということは、誰でも読める可能性があるということです。対象者である患者さん自身が読んだとき、対象者となった看護者がそれを目にしたとき、これは自分だとわかることを避けます。

例：イニシャルや明確な年月日は、誰のことかわかる可能性が高いので、A さんあるいは事例 1 に変更し、年月日については期間（発症から○○ヶ月など）で表現するなど、工夫して表記してください。

◇◆結果に関係しない個人情報は省く◆◇

結果に関係しない情報は、論文には書きません。どういう対象者から集めたデータかを把握するために必要な情報か、結果の解釈に必要な情報か、の 2 点が記載するかどうかの判断基準です。年齢、性別、病名以外の個人情報に関してこの 2 点から見直して、不必要なものは削除してください。研究対象者の保護は、研究倫理の中で重視されていることの一つですので確認をお願いします。

4. 著作権について

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典（文献）を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載してください。

5. 利益相反の有無について

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる成果を社会へ還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、利権など）が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護研究では企業から無償で提供された機材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、抄録、論文等）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

例：＜利益相反がある場合＞本演題発表に関連して、過去 1 年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究費・奨学寄附金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。
＜利益相反がない場合＞本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

6. 引用文献と参考文献について

◇◆引用文献の記載は適切に◆◇

論文中に先行研究として活用する文献は引用文献です。例えば、「既に山田ら[1)]が指摘しているように」あるいは「この結果は山田ら[1)]とは異なり、○○の点で特徴があった。」等、文章そのものを引いていない場合でも、論文全体を引用文献として扱います。文章をそのまま引く場合も引用文献になります。引用文献は引用順に番号を付し、論文の最後にリストにして記載します。参考文献は、引用していないがその論文を書くのに不可欠だった文献という意味です。論文を書くときは引用文献のみにするとすっきりしますので、この点を心がけて論文をお書きください。

◇◆孫引きではなく、原点から引用を◆◇

A 氏の論文の中に引用されている B 氏の意見を引用したい場合は、A 氏の論文の文献リストから B 氏の論文を探し、B 氏の文献を自分で読んでから引用してください。

平成 29 年度日本看護学会論文集投稿ガイドより引用、一部加筆修正

実践報告・事例報告における倫理的配慮

愛知県看護学会へ応募された演題において、実践報告や事例報告が増えています。実践報告や事例報告をする場合の倫理的配慮について、以下を参考にして、抄録作成を行ってください。

1. 日常的に行った看護実践や実習で担当した事例を発表したい場合

可能な限り対象者の同意を得てください。

対象者が退院している、または亡くなっているため接触が不可能等、同意を得ることが困難となる場合は、病院の倫理委員会や看護部の代表者等に発表に関する承認を得てください。抄録や発表では、個人が特定されないように配慮をしてください。

実習で担当した患者さんのことを発表する場合、実習で受け持ちをすることとは別に対象者に同意をとることが必要となります。

【個人が特定されないような配慮の例】

- 名前はイニシャルを使用せず、A さんあるいは「事例 1」等と表記する
- 入院年月日、通院年月日をそのまま記載せず、X 年 Y 月のようにアルファベッドを用いて表記したり、発症から○ヶ月等と表記する
- 結果や考察に関係しない情報は記載しない（結果や考察に関係のない生育歴、経過、疾患名、家族関係、検査データ等）

◆倫理的配慮の記載例◆

- 個人情報保護と発表について対象者に口頭・書面にて説明し承認を得た。また、A 病院倫理委員会の承認を得た（承認番号：○○○○）。
- 個人が特定できないように十分な倫理的配慮を行った。また、発表にあたり所属施設の看護部の承認を得た。

2. 職員への教育、業務改善の評価を発表したい場合

学会での発表に関する所属施設の規定（倫理委員会等※）に従ってください。個人が特定されないような配慮を行ってください。

※倫理委員会が所属施設にない場合は、所属施設の規定に従い、所属施設の長に発表に関する承認を得る等の手続きをしてください。

◆倫理的配慮の記載例◆

・発表に関して所属施設の長の承認を得た。個人が特定されないように十分な倫理的配慮を行った。

愛知県看護学会　演題登録チェックリスト

発表要旨に照らし合わせて全ての項目をチェックし、プルダウン機能を用いて〇・△・×を入力してください。このチェックリストは発表要旨と一緒に提出してください。
メイン項目に×がある場合は受理されませんので、ご注意ください。
(「※」印の項目は該当する場合のみチェックを入れてください。)

演題タイトル:

＜初回投稿・修正後投稿　共通＞　チェック項目		
＜メイン項目＞		
	1	今回、発表要旨を投稿することに関して、所属長(看護部、看護部長、所長など)から許可を得ていますか？
	2	倫理委員会、それに準ずる倫理審査を受け、承認を得ていますか？　§注1
	3	発表内容は他の学会や他誌に公表あるいは投稿されていないものですか？
	4	利益相反(利害関係が疑われる企業から資金・物資の無償貸与など)の有無に関する記述は、結論の後、文献リストの前にありますか？
＜サブ項目＞		
	5	本文(スペースを含む)・文献・図表を含めてA4　2枚以内にまとめていますか？
	6	本文の文字サイズは10ポイント、和文フォントは明朝体で全角文字、英文・アラビア数字は半角文字となっていますか？
	7	本文は「はじめに」・「目的」・「方法」・「結果」・「考察」・「結論」等の項目別にまとめ、各項目にローマ数字(Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ)で番号をつけていますか？
	8	「目的」・「方法」・「結果」・「考察」・「結論」「文献リスト」等、大項目の前は1行スペースが空いていが空いていますか？
	9	図表等は愛知県看護学会ホームページにある「図表の書き方」に沿って記載されていますか？ ＊図表ごとに通し番号とタイトルを付ける、タイトル位置(図は下、表は上)、単位・標本数の表記など
	10	図表等は、白黒印刷で判別できる明瞭なものですか　？＊カラー原稿は不可です
	11	文献の記載方法は発表要旨執筆要領に従っていますか？
	12	本文中の引用箇所と本文最後の引用文献一覧の番号および内容は一致していますか？
	13	文献はおおもとの論文(尺度であれば、尺度開発者の論文)から引用していますか？ ＊図表や写真等の転載は原則として認めません
	14	愛知県看護学会ホームページにある「倫理的配慮と記述方法の留意点」、「実践報告・事例報告における倫理的配慮」は熟読しましたか？
	15	研究対象者へ研究内容および研究結果の公表等について説明し、承諾が得られていますか？
	16	研究対象者が特定できないよう配慮していますか？
	17	固有名詞(当院・当病棟を含む)を使っていませんか？
	18	研究への参加によって、対象者に不利益や負担が生じないよう配慮していますか？
	19	既存の尺度等および商標登録物の使用について、著作権者から必要な許諾を得ていますか？※
	20	薬品や検査器具等は、原則として一般名称を用い、(　)内に商品名と登録商標の場合は®を記載していますか？※
＜修正後投稿時のみ＞チェック項目　※修正投稿の際は下記項目もあわせてご確認ください。		
	21	査読用紙に「査読結果に対する研究者のコメント」 をすべて記載しましたか？

§注1:「準ずる倫理審査」:①実践報告では発表要旨の記述内容、表現が倫理的に問題がないか看護部、所属責任者等に確認してもらうことをさします、②研究の場合、倫理審査委員会が施設内にないとき、研究計画書を看護部など研究に関係ない第三者に倫理的問題がないかチェックしてもらうことをさします。

公益社団法人 愛知県看護協会
― 交通案内 ―

名古屋駅（JR・名鉄・地下鉄）

JR東海道線・中央線（約4分）
名鉄名古屋本線（約4分）

JR中央線（約7分）

名古屋市営地下鉄東山線
（約5分）

金山総合駅（JR・名鉄・地下鉄）

バスターミナル

7番のりば

- 金山11（池下行）
- 金山12（妙見町行・金山行）
- 金山16（瑞穂運動場東行）

8番のりば

- 金山14（瑞穂運動場東行）

約10 分

鶴舞駅（JR）

3番のりば

- 基幹1
  （星崎行、鳴尾車庫行、笠寺駅行）
- 栄26（博物館行）
- 黒川12（博物館行）
- 名駅18（名鉄神宮前行）

約7分

栄（地下鉄）

バスターミナル

4番のりば

- 栄26（博物館行）

18番のりば

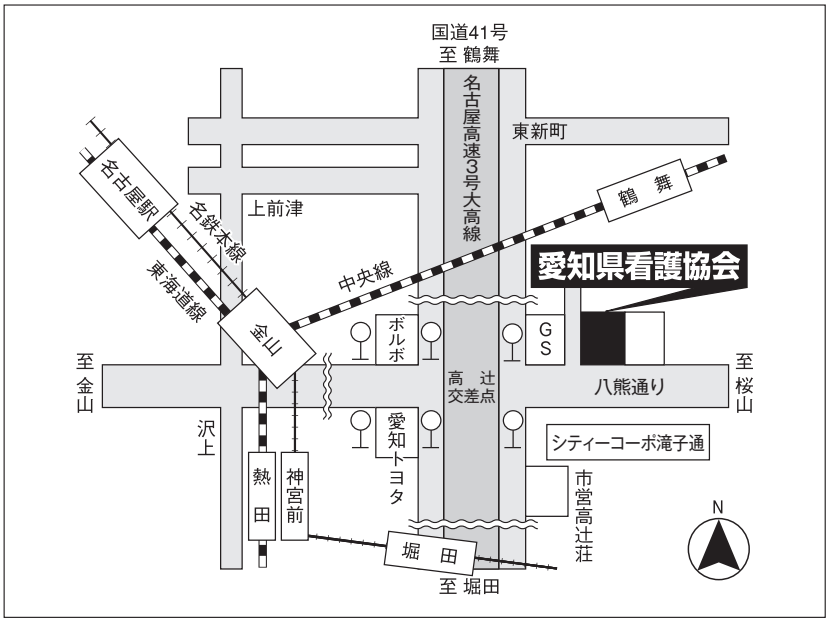
- 基幹1
  （星崎行、鳴尾車庫行、笠寺駅行）

約20 分

高辻・高辻北

徒歩3分

愛 知 県 看 護 協 会
（名古屋市昭和区円上町26 番18 号）



名古屋市交通局　https://www.kotsu.city.nagoya.jp

駐車場はありませんので、必ず公共交通機関をご利用ください。

研修に関する
連絡・問合せ

愛知県看護協会　教育センター
TEL　052－871－0761
http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/

活用しよう！　キャリナース

手続きはスマホで簡単、楽々♪

○苗字が変わった！

○働く職場が変わった！

○会員証なくしちゃった・・・

○引越したので住所変更したい!

等々

そんな時は・・・

会員専用ページ
キャリナース

QR コードから
簡単アクセス！

スマホならいつでも、どこでも
24 時間登録できます!!

キャリナースの便利な機能

①会員情報の変更手続がパソコン・スマホからできます。
ご自身の会員情報や活動履歴がＰＣ・スマートフォンから参照できます。
また、その場で勤務先や住所などの会員情報の変更手続が可能です。

②電子会員証の表示が可能です。
看護協会会員番号をＰＣ・スマートフォンから参照可能！カードを忘れたときも安心です。

③会員のスキルアップをサポート！資料の閲覧や検索も可能です。
ご自身の研修受講履歴を管理・活用できます。最新の看護関連図書の文献検索も可能！

※その他様々なサービスがあります

登録の仕方がわからない！うまくいかない！どうすればいいですか？

下記連絡先までお問合せ下さい

お問い合わせ先：総務課事業（会員管理担当）　☎ 052-871-0711

AICHI NURSING ASSOCIATION

公益社団法人　愛知県看護協会

〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番18号
TEL.052-871-0761　　FAX.052-871-0757